

# 農 工 通 信



No. 83

The Graduates' Association of the  
Tokyo University of Agriculture and Technology



府中キャンパス馬術部



東京農工大学同窓会

<http://www.tuat-dousoukai.org/>

# Contents

■ 会長挨拶 .....	3
■ 理事長就任の挨拶 .....	4
■ 理事長退任の挨拶 .....	4
■ 同窓会第49回理事会・通常総会 .....	5
■ 同窓会創立50周年記念式典開催を挙行 .....	14
■ 東京農工大学140周年記念会館オープンと 50周年記念ホール増改修について .....	15
■ 叙勲受章にあたり .....	16
叙勲の栄に浴す 井上善治郎（栽桑S19.9） .....	16
■ 退職にあたり .....	17
神田 尚俊（獣医S45）（獣医学科） .....	17
福嶋 司（地域生態システム学科） .....	17
豊田 昭徳（有機材料化学科） .....	17
船倉 正憲（機械システム工学科） .....	18
和田 俱幸（情報工学科） .....	18
■ 平成23年度同窓会学生援助事業報告 .....	19
■ 同窓会役員等体制・支部長及び連絡員表 .....	21
■ 平成23年度卒業生・修了生 .....	22
■ 部会・支部・クラス会だより .....	29
■ 掲示板 .....	35
■ 事務局だより .....	43
■ 編集後記	

# 会長挨拶

同窓会長 藤森 明彦（工化S42）



平成18年から検討が開始された同窓会創立50周年記念事業を、大学の創基140周年の記念事業と合同で進めると言うことで平成20年より具体的な活動がスタートされました。スタート直後の平成20年9月にはリーマン・ショックに見舞われ、また平成23年3月には東日本大震災に日本中が大きく揺さぶられるなど、幾多の予期せぬ困難に遭遇しながらも、関係各位の熱意により無事記念事業を終えることができましたことは望外の喜びでありますと同時に、ご尽力とご協力頂きました皆様には心より御礼申し上げます。

「情熱こそ人間のすべてである」とはフランスの作家バルザックの言葉だそうです。リーマン・ショックにより日本中が経済的大打撃を受けている中での寄附金集めや、140周年記念会館（その中に同窓会員のためのOBルームが設けられました）の建設工事が大震災後に大幅遅延するなど、非常に困難な中で何とか進められたのは、同窓会員各位から同窓会に寄せられる期待の大きさと、関係された多くの方々のま

さに「情熱」の賜物であったといえましょう。

すでにお手元に届いていることとと思いますが、「同窓会50年史」も御覧いただいた通りの立派な出来栄で、これにより長きにわたるこれまでの来し方に思いを巡らすと同時に、これから先の同窓会の更なる発展を予期させるものとなったと思います。この50年史にも記載されている通り、同窓会の機関誌「農工通信」は昭和38年に創刊号が発行された「農工」に始まり、その後「農工通信」として昭和50年より平成17年まで年2回発行して参りました。その後一部をカラー化するなど、内容の充実に努める代わりに年1回の発行をして参りましたが、創立50周年を機によりタイムリーな情報を皆様と共有すべく、再度年2回発行することにいたしました。皆様におかれましては折々の状況なりを寄稿いただき、この「農工通信」が皆様により一層親しみやすいものとなると同時に、「農工通信」を通じて母校の発展をともに喜びあえるものとなることを期待するものです。



## 理事長就任の挨拶

渡邊 敏行 (材料S61)

本年5月26日開催の第49回総会において藤森会長の指名を受けて平成24～25年度の理事長に選任されました。高橋前理事長の後任として本会の運営に当たることになり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。何卒よろしくお願い致します。

就任にあたって、まず部会、支部の活性化に取り組むたいと思っております。同窓会本会の理事として県支部総会に出席させていただいたことが度々ございますが、どこの県支部でも平成以降の卒業生の参加が極めて少ないことが問題となっています。若い世代が同窓会の活動に参画しやすくするための仕掛けを導入し、思い出話に花を咲かせるだけでなく、現実の仕事にも役立つ同窓会に変えていくことが重要であると考えております。このような観点から滝山理事および野村理事に同窓会の新しいホームページを構築していただきました。このホームページはFacebookと連携できますので、これを利用しますと部会や支部単位でバーチャルな同窓会を開催することができるようになります。また、住所や勤務先が変更になった際もホーム

ページから登録情報の修正ができるようになりました。ホームページやFacebook利用の仕方に関する簡易マニュアルは本誌「掲示板」にも掲載しております。

バーチャルな同窓会は地理的に離れている会員同士の交流に有効ですが、実際に卒業生同士が集う機会を増やすことは最重要課題であると考えております。幸い高橋前理事長と堀前総務部長のご尽力により、会則の大幅改正を行いました。これまでは卒業時の学科又は専攻を単位とした部会しか設置できませんでしたが、会則改正により「活動内容の類似した会員集団」あるいは「同好の会員集団からなる」部会も設置できることになりました。この制度を利用すると技術士部会あるいは弁理士部会であるとか、〇〇株式会社、〇〇県〇〇市役所部会といったユニットでの活動も可能になります。部会設置の申請方法は新たにホームページで紹介致します。

当面以上のような手法により同窓会の活動が活発になるように努力したいと思っておりますので、重ねて皆様のご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 理事長退任の挨拶

高橋 幸資 (農化S45)

会員の皆様の日頃からのご理解とご鞭撻を頂きながら、2年間何とか理事長を務めさせていただきました。誠に有難く厚く御礼申し上げます。

振り返りますと昨年は、大震災と原発の甚大な事故があり、急遽募金をお願いして被災会員にお見舞い申し上げますが、未だ支援が不十分ではとなお案じています。本年は創立50周年を迎え、50年史の刊行を含めて記念事業を進め、今後の発展を強く念じながら記念式典・記念の会を開催することができました。

将来に亘る礎として会則の全面改正と関係規則の整備を行い、本会の最高決議機関である総会に、役員、代議員、支部長に加えて一般正会員の参画を可能にしました。また、会計が流動する基本金、一般会計、特別会計の現財務管理

を改め、固定の基本財産、通常事業を賄う運用財産、他の特定事業に使う特定目的事業財産に変更し、運用財産には会費等の全収入を充てて規模を拡充しました。本会と全会員を直接繋ぐ農工通信の年2回発行を実現し、ホームページも会員が相互交流できるサイトを設けて一新しました。部会・支部組織体制の強化も図りましたが、若手会員が参画しやすい工夫や海外在住会員の支援の道は未だ途上です。8年後(平成32年)に契約延長満期となる八王子分収林問題も検討専門委員会を設けて検討中と、多くの課題に取り組んできましたが、新理事長には、本会の明日の飛躍に向かって、さらに叡智を集めて尽力頂けるものと思います。これまで支えて頂いたことに重ねて御礼申し上げます。

# 同窓会第49回理事会・通常総会

■日時：平成24年5月26日（土）11：50～13：50

■場所：小金井キャンパス工学部講義棟

■出席者：193名（内委任状53名）



第49回理事会・通常総会は、5月26日（土）、母校小金井キャンパス講義棟にて開催された。通常総会に先だって理事会が開催され、藤森会長を議長に選出した。藤森会長から、平成24・25年度理事の推薦、平成24・25年度理事長・副理事長・常務理事の指名、顧問の推挙、特別会員の推薦、通常総会の議案の説明があり、承認された。通常総会の開催に当って、渡邊副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。藤森会長から、「東日本大震災の募金活動終了の報告とお礼、同窓会創立50周年の募金活動の報告とお礼等」の挨拶があった。続いてご出席いただいた松永学長をはじめ、来賓（額副学長、普後副学長、西村副学長、國見農学研究院長、畑中名誉会長、梶井名誉顧問）の紹介があった後、松永学長から、同窓会からの支援に対する謝意があり、大学の現状（植物工場の設置、研究戦略センターの設置、共同獣医学科の設置、入学式、卒業式の挙行、公務給与の削減、東日本大震災の救援金等）の紹介があった。引き続き、渡邊副理事長から、通常総会の議長については、会則第9条に基づき、藤森会長が務める旨の説明があった後、議事録署名人に淵野雄二郎理事、西澤宇一理事を選出し議事に入った。

## 議事

### 1. 平成23年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告

大里総務副部長より、平成23年度事業報告【別記1】、多羅尾経理部長より平成23年度収支決算報告【別記2】があった。続いて、生原監事より決算報告書・帳簿・伝票等の精査をした結果、何れも適正に処理されており、事業・業務執行状況も適正であること、また、個人情報保護に関する取扱いも適正に行われている旨の報告があり、何れの報告も承認された。

### 2. 東日本大震災の救援募金活動終了の報告とお礼

高橋理事長より、東日本大震災の救援募金活動終了の報告【別記3】とお礼の言葉があった。

### 3. 同窓会創立50周年記念事業の募金活動終了の報告とお礼

高橋理事長より、同窓会創立50周年記念事業の募金活動終了の報告【別記4】とお礼の言葉があった。

### 4. 同窓会50年史の発行

下田同窓会50年史編纂副委員長から、同窓会50年史発行の報告と、協力者に対する謝意の言葉があった。

### 5. 会則改正及び個人情報の保護に関する規則改正

高橋理事長より、会則の改正【別記5】について提案がなされ、審議の結果、一部修正のうえ承認された。また、個人情報の保護に関する規則の改正【別記6】について提案がなされ、審議の結果、承認された。

### 6. 平成24年度事業計画及び収支予算

大里総務副部長より、資料に基づき平成24年度事業計画【別記7】、多羅尾経理部長より平成24年度収支予算【別記8】の提案と説明があり、審議の結果、承認された。

### 7. 平成24・25年度理事・代議員の選任、理事長・副理事長・常務理事の指名、監事の選出

高橋理事長より、平成24・25年度理事会推薦理事（14名）、部会推薦理事（65名）、部会推薦代議員（41名）、支部推薦代議員（48名）の選任及び監事（3名）の選出について提案がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。続いて、藤森会長から渡邊敏行新理事長、鈴木創三副理事長、常務理事の指名があった。

### 8. 顧問の推挙

高橋理事長より、部会等から推薦のあった元副会長7名及び元理事長2名の顧問への推挙について提案と説明があり、審議の結果、承認された。

### 9. 特別会員の推薦報告

高橋理事長より、理事会で推薦、承認された特別会員26名の報告があった。

### 10. 農工通信年2回発行

高橋理事長より、農工通信を年2回発行することについて【別記9】のとお礼の報告があった。

### 11. その他

1) 新旧理事長の新任（渡邊敏行氏）・退任（高橋幸資氏）の挨拶があった。

通常総会終了後、藤森会長より、堀三計氏（前総務部長）及び瀬木秀保氏（元事務局長）に対して感謝状の贈呈が行われた。また、同窓会創立50周年記念式典・記念の会が講義棟及び140周年記念会館（エリブス）において、約160名の参加のもと盛大に開催された。



## 【別記1】

### 平成23年度事業報告

#### 1. 第48回理事会・通常総会の開催

平成23年5月28日（土）、昨年に引き続き府中キャンパスにて第48回理事会・通常総会を開催。議事内容は、1) 平成22年度事業報告（案）、収支決算報告（案）、監査報告、2) 平成23年度事業計画（案）、予算（案）、3) 平成23・24年度会長・副会長の選任（案）、4) 名誉顧問の推挙、5) 特別会員の推薦報告、6) 同窓会創立50周年記念事業募金、7) 同窓会50年史の発行、8) 東日本大震災に伴う同窓生に対する募金活動、9) 同窓会の現状と課題及び今後の対応、10) 平成23年度「農工通信82号」への寄稿依頼することについて諮られ承認された。

#### 2. 平成23年度副会長懇談会の開催

平成23年11月12日（土）に開催され、1) 同窓会創立50周年記念事業募金活動の終了の報告及びお礼について、2) 東日本大震災募金活動の終了及び追加送金の報告並びにお礼について、3) 平成24年度第49回理事会・通常総会及び同窓会創立50周年記念式典並びに記念の会の開催について、4) 140周年記念会館（OBホール設置）の竣工に伴う利用開始時期について、5) 50周年記念ホールの増改修工事のスケジュールについて、6) 同窓会50年史刊行の進捗状況について、7) 同窓会の現状と課題及び今後の対応について懇談を行った。



3. 同窓会組織の強化、活性化および財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行、HPの改変等を検討した。また、常務理事の部会・支部への派遣も引続き行った。入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努めた。更に歳出削減に努めるとともに会計システムの改革(案)を作成した。

4. 同窓会創立50周年記念事業の募金活動

平成23年3月31日で同窓会創立50周年記念事業は終了し、47,000千円を超える募金が集まった。本年度は、平成24年度の同窓会創立50周年記念式典及び記念の会に向けて準備を行った。

5. 同窓会50年史の刊行

平成24年3月26日に刊行し、会員等に送付した。

6. 東日本大震災に伴う同窓生に対する募金活動

平成23年3月11日午後2時46分に発生した巨大地震と大津波、更に原子力発電所の事故に伴う同窓の被災者に対する募金活動を実施し、58名の被災同窓生・現役学生に見舞金(4,900千円)を送付した。

7. 同窓会の現状と課題及び今後の対応

平成22年度から検討を重ねてきた同窓会の改革について、1)同窓会会則の改正、2)財務システムの改正、3)農工通信の年2回発行については骨子が固まったので第49回理事会・通常総会に上程することとした。また、4)その他の課題については実施に向けて更に検討を重ねる。

8. 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット及びHPの更なる充実を図り、PR活動に努めた。

9. 会員の動静整理の継続実施

農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。

10. (財)東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行った。

11. 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会発表・コンテスト・コンクール等発表・入賞祝い・優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を継続して行った。

12. 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表した。

(2) 支出

(単位:円)

款 項 目	(A) 平成23年度予算額	(B) 平成23年度決算額	(A)-(B) 増減	備 考	
事 業 費	17,930,000	16,734,058	1,195,942		
内 訳	動静調査等管理費	1,300,000	1,229,675	70,325	人件費及び諸経費の節約
	会報発行費	6,100,000	5,684,998	415,002	安価契約
	HP管理作成費	800,000	880,390	-80,390	東日本大震災に伴う掲載量の増加
	部会・支部活動費	4,100,000	3,567,220	532,780	平成22年度7部会・7支部未申請 平成23年度3部会・6支部未申請
	母校援助費	4,300,000	4,320,000	-20,000	学会発表の申請件数の増加
	新入正会員歓迎費	900,000	780,525	119,475	安価契約
	分収林管理費	50,000	11,480	38,520	分収林打合せ出稼交通費
	資料整備費	380,000	259,770	120,230	安価契約
	議 費	2,050,000	2,254,608	-204,608	
	内 訳	総会会議費	1,900,000	2,128,720	-228,720
事 務 費	副会長懇談会	70,000	69,992	8	
	常務理事会議費	80,000	55,896	24,104	
	雑 給	4,390,000	4,341,822	48,178	
	備 品 費	100,000	73,545	26,455	
	消 耗 品 費	750,000	904,516	-154,516	パソコンを消耗品費から購入
	通 信 費	900,000	947,020	-47,020	東日本大震災に伴う被害状況調べ、外
	旅 費	1,500,000	1,108,230	391,770	平成22年度理事派遣人数20名 平成23年度理事派遣人数26名
	事務用品印刷費	50,000	50,820	-820	
	慶 弔 費	150,000	107,050	42,950	
	光 熱 水 費	120,000	96,224	23,776	
内 訳	雑 費	100,000	91,055	8,945	
	そ の 他	200,000	292,790	-92,790	賛助会費返付、同窓会費重積納入返付が予定より多かった。
職員厚生積立金	420,000	420,000	0		
予 備 費	2,000,000	1,017,664	982,336	東日本大震災見舞金の補填	
合 計	30,660,000	28,439,402	2,220,598		

(3) 期末残高

(単位:円)

収入-支出	30,879,797	28,439,402	2,440,395
-------	------------	------------	-----------

3. 特別会計

(1) 収入

(単位:円)

款 項 目	(A) 職員厚生資金	(B) 50周年記念事業資金	(A)+(B) 合 計
前 年 度 繰 越 金	664,622	16,506,526	17,171,148
繰 入 金	420,000	5,000,000	5,420,000
利 息	151	13,234	13,385
合 計	1,084,773	21,519,760	22,604,533

(2) 支出

(単位:円)

款 項 目	(A) 職員厚生資金	(B) 50周年記念事業資金	(A)+(B) 合 計
合 計	60,000	13,904,302	13,964,302

(3) 期末残高

(単位:円)

款 項 目	(A) 職員厚生資金	(B) 50周年記念事業資金	(A)+(B) 合 計
収入-支出	1,024,773	7,615,458	8,640,231

4. 合計期末残高

(単位:円)

予算項目	基本金	一般会計	特別会計	合 計
金 額	357,179,992	2,440,395	8,640,231	368,260,618

【別記3】

東日本大震災の救援募金活動終了の報告とお礼

平成24年5月26日

「東日本大震災」の救援募金活動終了の報告とお礼

同窓会救援募金会発起人代表  
同窓会長 藤 森 明 彦

去る平成23年3月11日午後に発生した東日本大震災は世界的にもまれな巨大地震で被害の規模も大きく、更に福島第一原子力発電所の甚大な被害も加わり、未曾有の大被害を受けました。

今回の震災では、現在もまだ、大変多くの方々がつらい避難生活を送られ

【別記2】

平成23年度収支決算報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1. 基本金

(1) 収入

(単位:円)

款 項 目	(A) 平成23年度予算額	(B) 平成23年度決算額	(A)-(B) 増減	備 考
前年度繰越金	351,912,729	351,912,729	0	
終 身 会 費	1,530,000	1,770,000	-240,000	30千円×59人=1,770千円
賛 助 会 費	27,600,000	27,130,000	470,000	一般学生30千円×904人=27,120千円、留学生10千円×1人=10千円
そ の 他	0	0	0	
合 計	381,042,729	380,812,729	230,000	

(2) 支出

(単位:円)

特別会計繰出	一般会計通常繰出	一般会計特別繰出	合 計
5,000,000	13,800,000	4,832,737	23,632,737
5,000,000	13,800,000	4,832,737	23,632,737
0	0	0	0
0	0	0	0

(3) 期末残高

(単位:円)

収入-支出	380,812,729	23,632,737	357,179,992
-------	-------------	------------	-------------

2. 一般会計

(1) 収入

(単位:円)

款 項 目	(A) 平成23年度予算額	(B) 平成23年度決算額	(A)-(B) 増減	備 考
前年度繰越金	3,695,263	3,695,263	0	
入 会 金	4,665,000	4,680,000	-15,000	5千円×936人=4,680千円
年 会 費	1,149,000	1,264,000	-115,000	15千円×842人=1,263千円 余分納入1人=1千円
利 子	2,178,000	2,051,147	126,853	国債1,964,000円 預金87,147円
基本金より繰入	18,632,737	18,632,737	0	
雑 収 入	340,000	556,650	-216,650	農工通信広告料、一般寄付金、国債購入剩余金、外
合 計	30,660,000	30,879,797	-219,797	

ています。

本学同窓生におきましても例外ではなく被災地において、お亡くなりになられた方、家が津波により流失し家財すべてを失った同窓生もおります。

そうした東日本大震災被災同窓生への援助の手を差し伸べる一助として、第48回の通常総会において緊急に「同窓会救援募金会」が設置され、平成23年6月～7月までの2ヶ月間募金活動を実施し、無事募金活動を終了することができました。

この間、部会長様、支部長様をはじめ多くの同窓会員の皆様には、ご協力を賜り貴重な救援募金(2,982,497円)を集めることができました。ここに厚く御礼を申し上げる次第で御座います。

募金活動の終了に当たって、ここに集計結果、配分額をお礼方々ご報告申し上げます。

被災同窓生救援募金にご協力頂きありがとうございました。

1、集計結果

1) 東日本大震災の募金額	: 2,982,497円
2) 特別寄附金	: 899,839円
3) 一般会計予備費	: 1,017,664円
-----	
合 計	4,900,000 円

2、お見舞金の配分額

1) 死 亡 者	: 100,000円 (1名)
2) 自 宅 全 壊	: 1,400,000円 (7件)
3) 自 宅 半 壊	: 1,800,000円 (18件)
4) 実 家 全 半 壊	: 300,000円 (6件)
5) 自 営 被 害	: 950,000円 (19件)
6) 現役学生の実家全半壊	: 350,000円 (7件)
-----	
合 計	4,900,000円 (58件)

〔別記4〕

同窓会創立50周年記念事業の募金活動終了の報告とお礼

平成24年5月26日

「同窓会創立50周年記念事業」の募金活動終了の報告及びお礼

東京農工大学同窓会  
同窓会長 藤森明彦

昭和37年(1962年)に新同窓会として設立されました本会は、平成24年(2012年)に創立50周年を迎えます。それを期として、平成20年7年に開始いたしました「東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年合同記念事業」の募金活動は皆様のご支援ご協力により、平成23年3月を以て無事終了することができました。

この間、部会長様、支部長様はじめ多くの同窓会員の皆様には丁寧なご指導、ご鞭撻を頂くと共に多大なるご支援とご協力を賜り、4千7百万円有余の貴重なご寄附を頂戴することができました。ここに厚くお礼申し上げます。ご報告申し上げます。

募金活動終了に当たって、最終の「募金の総額」及び「事業計画に沿って実施する事業」は以下のとおりでございますので、お礼方々ご報告申し上げます。同窓会創立50周年記念事業募金にご協力戴き有り難うございました。

1、募金の総額

1) 募金達成額: 47,834千円

2、実施する事業等

1) 小金井記念ホールの設置	: 30,000千円
2) 大学50周年記念ホール(府中地区)の増改修	: 15,000千円
3) 事務費	: 2,834千円

〔別記5〕

会則改正

改正前	改正後	備考
	第1章 総則	
	(名称) 第1条 本会は、「東京農工大学同窓会」という。	
	(事務所) 第2条 本会は、主たる事務所を東京都府中市晴見町3-8-1国立大学法人東京農工大学(以下「本学」という。)内に置く。	所在地を明記
第3条 本会は東京農工大学同窓会と称し、事務所を東京農工大学内におく。	(目的) 第3条 本会は会員相互の親睦を深め併せて同窓並びに母校の発展を図ることを目的とする。	
第1条 本会は会員相互の親睦を深め併せて同窓並びに母校の発展を図ることを目的とする。	第2章 事業	
	(事業) 第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。事業の実施に関して必要な事項は、別に定める。 一 会報の発行 二 会員動静の調査及び情報の提供 三 学術講演会、講習会などの開催並びに雑誌、図書の発行 四 その他、前条の目的を達成するために必要な事業	総則としては今後可能性のある主要な事業は残しておく。
第2条 本会はその目的を達成するため次の事業を行なう。 1. 会報の発行 2. 会員動静の調査および情報の提供 3. 会員の福利厚生のための事業 4. 学術講演会、講習会などの開催 5. 調査研究および雑誌、図書の発行 6. その他必要な事業	第3章 会員と組織	
	(会員) 第5条 本会の会員は、次の5種とする。 一 正会員 本学及びその前身の出身者 二 特別会員 本学の現職教職員で理事会で推薦した者 三 準会員 本学学生及び他大学を卒業し、本学大学院生となった者 四 賛助会員 本学に在籍する学生の父母等で、本会の趣旨に賛同し、賛助会費を納入した者 五 名誉会員 本会及び母校の発展に寄与した者で、理事会で推薦し、総会で承認した者 (顕彰及び慶弔)	字句等の修正。 名誉会長、名誉顧問及び顧問は会員と異なるので削除し、役員等の選任の条項で規定。
第4条 本会は次の会員で組織する。 1. 正会員 東京農工大学およびその前身の出身者 2. 特別会員 東京農工大学現職教職員で理事会で推薦した者 3. 準会員 東京農工大学学生および他大学を卒業し、本学大学院生となった者 4. 賛助会員 本学に在籍する学生の父母等で、本会の趣旨に賛成し、賛助会費を納入した者 5. 名誉会員 本会および母校の発展に寄与したもので、理事会で推薦した者	第6条 会員が次の各号の一に該当する場合には、顕彰(表彰・感謝を含む)又は慶弔の意を表すことができる。 一 本会の発展に貢献したとき 二 慶事があったとき 三 弔事があったとき 2 顕彰又は慶弔に関して必要な事項は、別に定める。	新規条項。
第2項、第5項の会員で本会の名誉を傷つけた場合には、理事会の議を経て会員資格を剥奪する。		

改正前	改正後	備考
<p>第16条 準会員は入会（正会員として入会の場合も同じ）に際して入会金を納めるものとし、その額は5千円とする。</p> <p>第15条 正会員は終身会費として3万円を納めるものとする。</p> <p>2. 正会員は年会費として1千5百円を当該年度の始めに毎年納めることもできる。</p> <p>3. 賛助会員の子女が正会員になったとき、その賛助会費を終身会費にかえる。</p> <p>第6条 本会に部会をおく。部会に関する細則は別に定める。</p> <p>第7条 本会に都道府県ごとに支部をおく。</p> <p>第17条 部会および支部の運営に必要な経費の補助として、部会・支部活動費を交付する。</p> <p>第8条 本会に次の役員をおく。          会長 1名 理事 100名以内          副会長 若干名 監事 3名</p> <p>第10条 役員は、正会員および特別会員の中から次の通り選出する。</p> <p>1. 役員は正会員および特別会員中より選出する。</p> <p>2. 理事はそれぞれの部会の推薦によるものほか理事会の推薦によるものを総会で選任する。ただし、理事会の推薦にかかる理事の数は15名をこえてはならない。部会よりの推薦細則は別に定める。</p> <p>3. 会長、副会長は会員中より理事会が推挙し総会で選任する。</p> <p>4. 理事長、常務理事は理事中より会長が指名する。</p> <p>5. 監事は総会で選出する。</p> <p>6. 役員の任期は2年とし再選することができる。</p> <p>第5条 本会に名誉会長、名誉顧問および顧問をおくことができる。</p> <p>第9条 会長は本会を代表し、会務を総へ総会および理事会の議長となる。副会長は会長を助け会長が事故ある場合はその代行をする。理事長は常務理事会の議長となり会務を処理し、会長および副会長が事故あるときは、その職務を代行する。理事は理事会を、常務理事は常務理事会を組織し、それぞれ会務の運営、事業の執行にあたる。監事は会計・事業の監査をする。</p> <p>第12条 役員および代議員の任期はその満了の日がその日の属する事業年度の通常総会の終了の日と異なるときは、その通常総会終了時までとする。</p>	<p>(除名及び会員資格の喪失)</p> <p>第7条 会員が次の各号の一に該当する場合には、理事会の議を経て、除名又はその資格の喪失を措置する。</p> <p>一 本人が死亡又は失踪宣告を受けたとき</p> <p>二 準会員が中途退学したとき</p> <p>三 特別会員が本学を退職したとき</p> <p>四 特別会員及び名誉会員が本会の名誉を著しく傷つけたとき (入会金及び会費)</p> <p>第8条 正会員、準会員及び賛助会員は、別表に示す入会金及び会費を納入しなければならない。</p> <p>(組織)</p> <p>第9条 本会に部会及び支部をおく。部会・支部の設置及び廃止などに関して必要な事項は、別に定める。</p> <p>2 部会及び支部の運営に必要な経費の補助として、部会・支部活動費を交付する。交付に関して必要な事項は、別に定める。</p> <p>第4章 役員・代議員及び事務局職員 (役員の種別及び定数)</p> <p>第10条 本会に次の役員をおく。</p> <p>一 会長 1人</p> <p>二 副会長 3人以上25人以内</p> <p>三 理事 50人以上100人以内</p> <p>四 監事 1人以上3人以内</p> <p>2 理事のうち、1人は理事長とし、複数の副理事長を置くことができ、25人以内の常務理事を置く。</p> <p>(役員等の選任)</p> <p>第11条 役員は、正会員及び特別会員の中から次の通り選出する。ただし、役員は相互にその職務を兼ねてはならない。</p> <p>一 会長、副会長は、理事会が推挙し総会で選任する</p> <p>二 理事は、それぞれの部会の推薦による者のほか、理事会の推薦による者を総会で選任する。ただし、理事会の推薦による理事の数は15名をこえてはならない。理事の推薦に関して必要な事項は、別に定める</p> <p>三 理事長、副理事長及び常務理事は、理事の中から会長が指名する</p> <p>四 監事は、理事会が推挙し総会で選出する</p> <p>五 理事又は監事のうち、その定数が3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない</p> <p>第12条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問をおくことができる。名誉会長、名誉顧問及び顧問は総会で推挙する。推挙に関して必要な事項は、別に定める。</p> <p>(役員職務)</p> <p>第13条 会長は、本会を代表し、会務を統括し、総会の議長となる。</p> <p>2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を行う。</p> <p>3 理事長は、理事会及び常務理事会の議長となり会務を処理する。副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を行う。</p> <p>4 理事は、理事会を、常務理事は、常務理事会を構成し、この会則の定め及び総会又は理事会又は常務理事会の議決に基づき、それぞれ会務の運営、事業の執行にあたる。</p> <p>5 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>一 理事及び常務理事の業務執行状態を監査すること</p> <p>二 本会の財産状況を監査すること</p> <p>三 前二号の監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合は、これを総会に報告すること</p> <p>四 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること</p> <p>五 理事及び常務理事の業務執行状況又は本会の財産状況について、理事及び常務理事に意見を述べ、もしくは理事会及び常務理事会の招集を請求すること</p> <p>(役員任期)</p> <p>第14条 役員は、再任を妨げない。</p> <p>2 役員は、その満了の日が、その日が属する事業年度の総会の終了の日と異なるときは、その総会終了時までとする。</p> <p>3 補欠のため、又は増員により就任した役員は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残任期間とする。</p> <p>4 役員は、辞任または任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。</p>	<p>特別会員及び名誉会員の会員資格剥奪に加えて、除名措置も加える。</p> <p>会費の値上げは当面考えない。条文の整理統合。</p> <p>部会・支部活動費を含めて規程とする。</p> <p>以下は0人を含むので最低人数を規定する。</p> <p>副理事長の明記。</p> <p>条文整理。 副理事長の明記。</p> <p>理事、監事の欠員補充の明記。</p> <p>名誉会長、名誉顧問及び顧問の役員等扱い。</p> <p>理事長の会長代行庶務を廃し、役割区分の明確化。監事の職務の明確化。</p> <p>役員は2年任期、再任規定の追記、残任措置の明確化。</p>



改正前	改正後	備考
<p>第11条 代議員の定数は150名以内において細則で定める。代議員は部会および支部より推薦し総会で選任する。部会および支部よりの推薦に関する細則は別に定める。代議員の任期は2年とし再選することができる。</p>	<p>(役員の解任)                      第15条 役員が次の各号の一に該当する場合には、理事会の議を経て、総会の議決により、これを解任することができる。                      一 疾病、事故その他の事由により、職務執行に堪えないと認められるとき                      二 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき                      2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。                      (代議員及び定数)                      第16条 本会に代議員をおく。                      2 代議員の定数は60人以上150人以内とする。</p> <p>(代議員の選任)                      第17条 代議員は正会員の中から部会及び支部が推薦し総会で選任する。部会及び支部からの推薦に関して必要な事項は、別に定める。                      (代議員の職務)                      第18条 代議員は総会に参加し、総会の議決を行う。                      (代議員の任期及び解任)                      第19条 代議員の任期及び解任は、役員の任期及び解任に関する第14条及び第15条の規定を準用する。この場合、同条中「役員」とあるものは「代議員」と読み替えるものとする。                      (報酬及び旅費)                      第20条 本会の役員及び代議員の報酬は無給とする。                      2 本会役員、代議員、支部長及び事務局職員の事業活動に要する交通費等の経費は支給することとし、旅費及び交通費に関して必要な事項は、別に定める。                      (事務局職員)                      第21条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。                      2 事務局には事務局長を置き、必要に応じて非常勤職員を置くことができる。                      3 事務局長及び非常勤職員は会長が任免する。                      4 事務局職員の就業に関して必要な事項は、別に定める。</p> <p style="text-align: center;">第5章 資産及び会計</p> <p>(資産、区分及び管理)                      第22条 本会の資産は次の通りとする。                      一 財産目録に記された財産                      二 資産から生じる収入                      三 会費収入                      四 事業収入                      五 寄附金品                      六 その他の収入                      第23条 本会の資産を区分して、基本財産、運用財産、特定目的事業財産の3種とする。                      2 基本財産は、本会の存続のために確保すべき純財産とし、次に掲げるものをもって構成する。                      一 本会則改正時に基本財産の部に記載された財産                      二 基本財産とすることを指定して寄附された財産                      三 総会で基本財産に繰り入れることを議決した財産                      3 運用財産は、本会則第4条で規定された事業の遂行に要する費用を支弁する財産とし、次に掲げるものをもって構成する。                      一 終身会費、年会費、賛助会費等の会費収入                      二 入会金収入                      三 前2号の利子及び基本財産の利子収入                      四 事業収入                      五 寄附金品                      六 その他の収入                      4 特定目的事業財産は、本会の趣旨に適合する事業で、運用財産の対象外の特定目的事業の遂行に要する費用を支弁するための財産とし、次に掲げるものをもって構成する。                      一 本会則改正時に特定目的事業財産の部に記載された財産等                      二 運用財産の剰余金で、特定目的事業財産に繰り入れることを総会で議決された財産                      5 資産及び会計に関して必要な事項は、別に定める。                      第24条 本会の資産は、総会の議決に基づき理事長が管理し、基本財産は、常務理事会の議決に基づき国債等の確実な方法により、理事長が保管する。                      (基本財産の処分制約)                      第25条 基本財産は、譲渡し、交換し、担保に供し、又は運用財産及び特定目的事業財産に繰り入れてはならない。ただし、本会の事業遂行上やむを得ない事由がある時は、総会の3分の2以上の議決を経て、その一部に限り処分をすることができる。</p>	<p>解任条項の追加。</p> <p>最低定数の追記。</p> <p>解任条項の追記。</p> <p>無報酬の明記。</p> <p>資産の明記。</p> <p>財務システムの変更による修正。財産の定義及び構成の明記。</p> <p>基本財産の管理方法の明記。</p> <p>基本財産の保護の明記。</p>

改正前	改正後	備考
<p>第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日に終わる。</p> <p>第23条 会議は通常総会、臨時総会、理事会、常務理事会とする。通常総会は毎年1回5月に会長が招集し、前年度の会務を報告し、予算決算の承認、役員の変更およびその他の重要事項を議決する。臨時総会と理事会は必要に応じて会長が招集する。ただし、役員3分の1以上から要求があった場合は会長は速やかに臨時総会を招集しなければならない。常務理事会は理事長が招集する。</p> <p>第24条 総会の構成および運営は次のごとくとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総会は役員、代議員および支部長を以て構成する。ただし、会員は出席して意見を述べることができる。</li> <li>2. 総会は役員、代議員および支部長の過半数の出席がなければ開会することができない。ただし、総会に出席することのできない役員、代議員および支部長は委任状をもって他の出席役員、代議員または支部長にその権限を委任することができる。</li> <li>3. 総会の議決は出席役員、代議員および支部長の過半数による。ただし、会則の変更は総会出席役員、代議員および支部長の3分の2以上の同意がなければならない。可否同数のときは議長による。</li> <li>4. 代議員が総会に出席できないときは所属会員に代理出席を委任することができる。</li> <li>5. 特に緊急を要するときは役員、代議員および支部長の書面審議で総会にかえることができる。</li> </ol>	<p>(事業年度)</p> <p>第26条 本会の事業年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。</p> <p>(事業計画、予算及び決算)</p> <p>第27条 本会の事業計画及びこれに伴う予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会及び総会の議決を経なければならない。</p> <p>第28条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。</p> <p>2 予備費を使用するときは、常務理事会の議決を経なければならない。</p> <p>第29条 本会の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支決算書等決算に関する書類は、毎年事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、理事会及び総会の議決を経なければならない。</p> <p style="text-align: center;">第6章 会議</p> <p>(会議の種類)</p> <p>第30条 本会の会議は、総会、理事会及び常務理事会の3種とする。</p> <p>2 総会は、通常総会および臨時総会とする。</p> <p>(総会の構成)</p> <p>第31条 総会は、役員、代議員、支部長及び60人以内の正会員をもって構成する。</p> <p>2 前項の正会員に関して必要な事項は、別に定める。</p> <p>(総会の権能)</p> <p>第32条 総会は、以下の事項について議決する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 会則の変更</li> <li>二 解散及び合併並びに残余財産の帰属</li> <li>三 会員の除名及び資格喪失</li> <li>四 事業報告及び収支決算の承認</li> <li>五 事業計画及びその収支予算の承認並びにその変更</li> <li>六 役員及び代議員の選任又は解任</li> <li>七 名誉会長、名誉顧問及び顧問の推挙</li> <li>八 その他本会の運営に関する重要事項</li> </ol> <p>但し、第三号については理事会に委任する。</p> <p>(総会の開催)</p> <p>第33条 通常総会は、年1回5月に開催する。</p> <p>2 臨時総会は次に掲げる場合に開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき</li> <li>二 正会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき</li> <li>三 監事が第13条第5項第四号及び第五号の規定に基づいて招集するとき(総会の招集)</li> </ol> <p>第34条 総会は、前条第2項第三号の場合を除いて、会長が招集する。</p> <p>2 会長は、前条第2項第一号及び第二号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。</p> <p>3 総会を招集する場合は、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。</p> <p>(総会の運営)</p> <p>第35条 総会の議長は、会長が行う。</p> <p>第36条 総会は、役員、代議員、支部長及び総会構成員として登録した正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。</p> <p>2 総会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とし、表決は次の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 出席した役員、代議員、支部長及び総会構成員として登録した正会員総数の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところとする</li> <li>二 役員、代議員、支部長及び正会員の表決権は、1人1票とし、その表決権は平等なものとする</li> <li>三 やむを得ない理由によって総会に出席できない役員、代議員及び支部長は、あらかじめ通知された事項について、書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の出席役員、代議員又は支部長を代理人として表決を委任することができる</li> <li>四 前号の規定により表決した役員、代議員及び支部長は、前項の規定の適用については出席したものとみなす</li> <li>五 総会の議決について、特別の利害関係のある役員、代議員、支部長及び正会員は、その議事の議決に加わることができない</li> </ol> <p>(総会の議事録)</p> <p>第37条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 日時及び場所</li> <li>二 役員、代議員、支部長及び総会構成員として登録した正会員総数並びに出席者数(書面若しくは電磁的方法による表決者、又は表決委任者がある場合は、その数を付記すること)</li> <li>三 審議事項</li> <li>四 議事の経過の概要及び議決の結果</li> <li>五 議事録署名人の選任に関する事項</li> </ol>	<p>事業に伴う会計体制</p> <p>事業計画に伴う予算組み。</p> <p>予備費の位置付け明記。</p> <p>決算の明記。</p> <p>臨時総会を総会に含めることを明記。</p> <p>総会構成員に一般正会員を含める改正。</p> <p>総会の構成、権能、開催、招集、運営及び議事録条文の分離。</p>

改正前	改正後	備考
<p>第25条 理事会は理事定数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、理事会に出席できない理事は委任状をもって他の出席理事にその権限を委任することができる。</p> <p>理事会の議決は出席者の過半数による。</p> <p>第26条 理事会で議決する事項は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総会の議案に関する事項</li> <li>2. 本会の運営上必要な細則制定に関する事項</li> <li>3. その他会務運営上重要な事項</li> </ol> <p>第27条 常務理事会は会務執行上必要な事項につき議決する。</p> <p>付 則                      (昭和39年7月4日一部改正)                      (昭和40年5月29日一部改正)                      (昭和43年6月1日一部改正)                      (昭和47年5月27日一部改正)                      (昭和48年5月26日一部改正)                      (昭和49年6月15日一部改正)                      (平成2年5月26日一部改正)                      (平成4年5月23日一部改正)                      (平成5年5月22日一部改正)                      (平成15年5月31日一部改正)                      (平成18年5月27日一部改正)                      (平成20年5月24日一部改正)                      (平成22年5月29日一部改正)</p>	<p>2 議事録には、議長及び総会に出席した監事2人が、記名押印又は署名しなければならない。</p> <p>(理事会)</p> <p>第38条 理事会は、理事をもって構成する。</p> <p>第39条 理事会は、次の事項を議決する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 総会に付議すべき事項</li> <li>二 総会の決した事項の執行に関する事項</li> <li>三 その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項</li> </ol> <p>第40条 理事会は、次に掲げる場合に開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 総会に先立って開催するもののほか、理事長が必要と認めるとき</li> <li>二 理事総数の3分の1以上から理事会の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき</li> <li>三 第13条第5項の規定により、監事から招集の請求があったとき</li> </ol> <p>第41条 理事会は、理事長が招集する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 理事長は前条第二号及び第三号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。</li> <li>3 理事会を招集する場合は、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。</li> </ol> <p>第42条 理事会の議長、議決、表決権及び議事録については、総会の運営に関する第35条、第36条及び第37条の規定を準用する。この場合、同条中「会長」及び「役員、代議員、支部長及び正会員」とあるものは、それぞれ「理事長」及び「理事」と読み替えるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 特に緊急を要する場合には、書面や電磁的方法による審議をもって理事会にかえることができる。</li> </ol> <p>(常務理事会)</p> <p>第43条 常務理事会は常務理事をもって構成する。</p> <p>第44条 常務理事会は、次の事項を議決する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一 理事会に付議すべき事項</li> <li>二 理事会の決した事項の執行に関する事項</li> <li>三 その他理事会の議決を要しない業務の執行に関する事項</li> </ol> <p>第45条 常務理事会は、必要に応じて開催するほか、常務理事総数の3分の1以上から招集の請求があったとき、並びに第13条第5項の規定により、監事から招集の請求があったときには遅滞なく開催する。</p> <p>第46条 常務理事会は、理事長が招集し、議長を務める。</p> <p>第47条 常務理事会は、常務理事の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。ただし、常務理事は、書面若しくは電磁的方法をもって議長に議決権を委任できるものとし、その数を出席者数に含めることができるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 議事は、出席常務理事の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところとする。</li> <li>3 特に緊急を要する場合には、書面や電磁的方法による審議をもって常務理事会にかえることができる。</li> <li>4 その他運営に関して必要な事項は、別に定める。</li> </ol> <p>第48条 常務理事会の議事録は、総会議事録に関する第37条に準じて作成する。第1項第五号及び第2項については省略することができる。</p> <p style="text-align: center;">第7章 会則の変更</p> <p>(会則の変更)</p> <p>第49条 本会会則の変更は、総会出席者の3分の2以上の承認がなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 変更する場合は、改定日、改定事項及び改定理由を明確にし、記録しておくなければならない。</li> </ol> <p>付 則                      本会会則は昭和37年4月19日より施行する。                      (昭和39年7月4日一部改正)                      (昭和40年5月29日一部改正)                      (昭和43年6月1日一部改正)                      (昭和47年5月27日一部改正)                      (昭和48年5月26日一部改正)                      (昭和49年6月15日一部改正)                      (平成2年5月26日一部改正)                      (平成4年5月23日一部改正)                      (平成5年5月22日一部改正)                      (平成15年5月31日一部改正)                      (平成18年5月27日一部改正)                      (平成20年5月24日一部改正)                      (平成22年5月29日一部改正)                      (平成24年5月26日全面改正し、平成24年4月1日より施行する。)</p>	<p>条文整理。招集、議長、表決権及び議事録の明確化。</p> <p>常務理事会の構成、議決、開催、招集、議長、運営及び議事録の新規の規定。</p> <p>独立条項とする改正。</p>



改正前	改正後			備考
	別表（会則第8条関係）			
	入会金	会費		賛助会費
		終身会費	年会費	
正会員	5,000円 <sup>※1,※2</sup>	30,000円 <sup>※3</sup>	1,500円	
正会員 （留学生）		10,000円 <sup>※3</sup>	1,500円	
準会員 （留学生含む）	5,000円 <sup>※1,※2</sup>			
賛助会員				30,000円 <sup>※4</sup>
賛助会員 （留学生）				10,000円 <sup>※4</sup>
<p>※1 入会金は準会員になった時に納付することを原則とする。ただし、準会員の時に未納の場合は、正会員になった時に納付しなければならない。</p> <p>※2 納付した入会金は、これを返付しない。</p> <p>※3 会費は終身会費として3万円（留学生は1万円）を納付することを原則とするが、年会費として1,500円を当該年度の始めに毎年納付することもできる。</p> <p>※4 賛助会費は賛助会員の子女が準会員から正会員になったとき、これをその終身会費に変えるものとする。ただし、準会員が中途退学した場合は、納付した者の申出により既に納付した賛助会費を返付することができる。</p>				

〔別記6〕

個人情報の保護に関する規則の改正

会則の改正に伴う標記規則の条文番号の改正

改正前	改正後（案）
規則第1条 会則第4条及び第5条	会則第5条及び第12条
規則第4条第1項 会則第1条	会則第3条
規則第4条第1項第四号 会則第6条及び第7条	会則第9条
規則第4条第1項第六号 会則第23条	会則第43条
規則第4条第2項 会則第23条	会則第31条
	附則の付記（H24. 5. 26改正。会則改正に伴う条文番号の修正。）

〔別記7〕

平成24年度事業計画

1. 第49回理事会・通常総会の開催

平成24年5月26日（土）小金井キャンパスにて第49回理事会・通常総会を開催する。議事内容は、1）平成23年度事業報告（案）、2）平成23年度収支決算報告（案）、3）平成23年度監査報告、4）東日本大震災に伴う同窓生に対する救援募金活動、5）同窓会創立50周年記念事業、6）同窓会50年史発行、7）同窓会会則の改正（案）、8）平成24年度事業計画（案）、9）平成24年度収支予算（案）、10）平成24・25年度理事・代議員の選任（案）、11）平成24・25年度理事長・副理事長・常務理事の指名（案）、12）平成24・25年度監事の選出（案）、13）顧問の推挙（案）、14）特別会員の推薦報告、15）農工通信年2回発行、16）その他を予定する。

2. 同窓会創立50周年記念式典・記念の会の開催

平成24年5月26日（土）小金井キャンパスにて第49回理事会・通常総会終了後、同窓会創立50周年記念事業式典・記念の会の開催を予定する。

3. 平成24年度副会長懇談会の開催

平成24年11月10日（土）、府中キャンパスにて平成24年度副会長懇談会の開催を予定する。

4. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を予定する。また、常務理事の部会・支部への派遣も引続き行う。入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努める。更に歳出削減に努めるとともに、新財務システムの運用を予定する。

5. 同窓会の現状と課題及び今後の対応

平成22年度から検討を重ねてきた同窓会の改革について、1）同窓会会則の改正、2）財務システムの改正、3）農工通信の年2回発行については、第49回理事会・通常総会に上程し実施を予定する。また、その他の課題については、実施に向けて更に検討を重ねる。

6. ホームページのリニューアル

平成24年5月1日を目途に「会員交流広場」の開設等を盛り込んだホームページのリニューアルを予定する。

7. 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット及びホームページのリニューアルにより、PR活動に努める。

8. 会員の動静整理の継続実施

農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。

9. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行う。

10. 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員（学生）の勉学・学生生活に関して、学会発表・コンテスト・コンクール等発表・入賞祝い・優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、並びに、卒業・修了証書カバーの贈呈を継続して行う。

11. 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表す。

【別記8】  
平成24年度予算

No	区分	細分	項目	平成24年度予算額	摘要	
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金 6）	300,000,000		
2			余剰金からの繰入れ（30%を超える分）	0		
3			収入合計（1+2）	300,000,000		
4		支出	他の財産へ繰出し	0		
5			支出合計（4）	0		
6			基本財産残高（3-5）→次年度繰越金	300,000,000		
7	運用財産	収入	前年度繰越金（43）	13,260,618		
8			入会金	4,212,000	前年度決算額の0.9掛けとした	
9			年会費	1,138,000	〃	
10			終身会費	1,593,000	〃	
11			賛助会費	24,417,000	〃	
12			利息	2,000,000	前年度決算額	
13			寄附金	0		
14			雑収入	340,000	前年度決算額（農工通信広告料のみ）	
15			収入合計（7~14の計）	46,960,618		
16			支出	動静調査等管理費	1,300,000	前年度予算額と同額
17				会報発行費	9,000,000	年2回発行 83号400万円、84号500万円
18				HP管理作成費	2,240,000	リニューアル（124万円）+新規・更新等年間維持費（100万円）
19				部会・支部活動費	4,500,000	基本金額1万円増額
20				母校援助費	4,500,000	前年度予算額（430万円）+増加見込額（20万円）
21				新入正会員歓迎費	900,000	前年度予算額と同額
22		分収林管理費		50,000	〃	
23		資料整備費		680,000	前年度予算額+会則等印刷費（30万円）	
24		事業費計（16~23の計）		23,170,000		
25		総会会議費		2,200,000	前年度決算額	
26		副会長懇談会費		70,000	前年度予算額と同額	
27		常務理事会議費		140,000	前年度予算額（8万円）+新旧常務理事交代会議費（6万円）	
28		会議費計（25~27の計）		2,410,000		
29		人件費		4,900,000	常勤職員（70万円）+非常勤職員（130万円×3人）+臨時雇用（30万円）	
30		備品費		200,000	前年度予算額（10万円）+増加見込額（10万円）	
31		消耗品費		910,000	前年度決算額	
32		通信費		950,000	〃	
33		旅費		1,500,000	前年度予算額と同額	
34		事務用品印刷費		60,000	前年度決算額	
35		慶弔費		150,000	前年度予算額と同額	
36		光熱水費		120,000	〃	
37		その他雑費		400,000	前年度決算額	
38		事務費計（29~37の計）		9,190,000		
39		50周年記念事業費		7,615,458	旧特別会計の50周年記念事業費から（7,615,458円）	
40		職員厚生資金		1,444,773	旧特別会計の職員厚生資金から移行（1,024,773円）+420,000円	
41		予備費		3,130,387		
42		支出合計（24+28+38+39+40+41）		46,960,618		
43		運用財産残高（15-42）→次年度繰越金		0		
44		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金（54）	55,000,000	
45				余剰金からの繰入れ（30%を超える分）	0	
46				収入合計（44+45）	55,000,000	
47			支出	八王子分収林育成事業支出	0	24年度当初の事業計画なし
48				周年記念事業支出	0	〃
49				学生援助事業支出	0	〃
50	被災会員支援事業支出			0	〃	
51	図書・名簿等刊行事業支出			0	〃	
52	その他本財産に適合する事業支出			0	〃	
53	支出合計（47~52の計）			0		
54	特定目的事業財産残高（46-53）→次年度繰越金			55,000,000		
55	月及び期末合計（6+43+54）	355,000,000				
56	特定資産	八王子分収林育成林木	32,877,400	平成15年8月評価		
57		月及び期末総合計（55+56）	387,877,400			
58	当座小口資金	当月収	前月及び前期より繰越			
59			預貯金引出			
60			会費入金			
61			当座帳簿計			
62		当月出	当月支出計（E-S）			
63			E:当月支出合計			
64			S:支払い・振替伝票			
65			収-出=61-62（次月・次期へ繰越）			

【別記9】  
農工通信年2回発行の件

会員個人々人をつなぐ機会を増やし、会員交流をさらに図るために、「農工通信」を年2回発行する。

前号（8月発行予定）は、主に同窓会の会務や大学現況等の内容を中心とし、後号（1月発行予定）は、主に会員交流の促進に向け幅広い年齢層の興味に応えた内容とし、農工通信の趣旨に沿って、会員からの随筆、所感、

同窓活躍企業の紹介、同人・クラブの紹介等々の会員の声、特集記事や訪問記事等、同窓の多彩な生きざまを伝え、交流のきっかけを作る読みやすい通信として幅広い会員の諸活動を全会員に発信する。

# 東京農工大学同窓会創立50周年記念式典開催を举行

平成24年5月26日（土）、母校小金井キャンパス講義棟において、約160名の参加者のもと「東京農工大学同窓会創立50周年記念式典」が举行されました。

当日は、藤森明彦同窓会長による式辞に続き、来賓として松永是東京農工大学長、西川公也前衆議院議員から祝辞があった後、高橋幸資理事長から、同窓会創立50周年記念事業の概要説明がありました。

引続き、会場を新築オープンした140周年記念会館（エリプス）に移し、「東京農工大学同窓会創立50周年記念の会」が盛大に催され、同窓会員、大学関係者、来賓者が懇談を行いました。



鏡抜き

(左から梶井教育研究振興財団理事長、松永学長、藤森同窓会長、畑中前同窓会長、西川前衆議院議員)



「記念の会」の会場の様子



## 東京農工大学140周年記念会館オープンと50周年記念ホール増改修について

広報部長 亀山 秀雄 (化工S48)

同窓生の皆様からご寄附いただいた中から、東京農工大学140周年記念会館に3000万円、50周年記念ホール改修に1500万円を大学に寄付しました。以下、建物の内容を紹介します。

### [東京農工大学140周年記念会館]

平成23年12月1日に140周年記念会館がオープンしました。学内募集で決められた名称は「エリプス」です。これは、建物の形が繭を想定した楕円形(エリプス)になっていることからその形の名前が選ばれました。計画の基本コンセプトは、「伝統ある質実剛健なキャンパスに新風を！先端的ゼロエミッション<sup>\*1</sup>建築を実験実証する。従来型より50%以上のCO<sub>2</sub>排出削減を実現する。キャンパス全体の省エネルギーを見据えた拠点としてゼロエミッションセンター機能を持たせる。それらの「見える化」により啓蒙広報センターの機能を持たせる。」です。NEDO<sup>\*2</sup>「次世代省エネルギー等建築システム実証事業」の支援を得ています。3階に

は、70㎡のOBルームと140名入る大会場があります。2階には80名入る中会場と15名程度が入れる3つのミーティングルームがあります。1階はレストラン「グリーンハウス」が入っています。部屋使用は有料ですが、同窓生のみで使用する場合は無料になります。予約は、教員を通じて行うことになっていますので、同窓の教員を活用ください。写真は東門のLEDアーチから撮った物です。屋根に載っているのは、太陽電池パネル、太陽温水器、デシカント空調室外機です。照明はすべてLEDです。建物の前の道路に立っているのは太陽電池パネルです。

### [50周年記念ホール増改修]

府中キャンパスにある50周年記念ホール（本部地区同窓会事務所の隣）も増改修され、写真右に示すように、スペースが160㎡に拡張され、広々とした雰囲気では合が開かれるようになりました。入口には、立派な玄関ができました。

\*1：国連大学が1994年に提唱した構想で、人間の経済活動による自然界への排出をゼロにする仕組みを構築すること

\*2：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の略称



[140周年記念会館及び東門LEDアーチ]



[50周年記念ホール内部]

# 叙勲受章にあたり

## 叙勲の栄に浴す

井上 善治郎(栽桑S19.9)

### ○ 叙勲拝受

平成24年2月1日付で「瑞宝双光章」を戴いた。1月17日、満88歳の日、埼玉県庁農林部より「叙勲に内定しました」と電話、今回の叙勲は高齢者(米寿)の叙勲、2月27日「勲記」と「勲章」が伝達された。勲記には「日本国天皇は井上善治郎に瑞宝双光章を授与する 皇居において璽をおさせる」とあり「大日本国璽」が押捺されていた。勲章の裏面には「勲功(くんこう) 旌章(せいしょう)」と刻してあり、意味は「功績をあきらかにし、あらわすしるし」という意味。受章者は閣議決定、上奏、天皇陛下の裁可を受けて発令される。

### ○ 入学

昭和17年4月、東京高等蚕糸学校栽桑学科に入学、同校は昭和18年4月に東京繊維専門学校と改称、19年9月に半年早く繰り上げ卒業、栽桑学科は一学級20名という小さな学科、科長の高木一三先生(種苗)、戸倉章先生(植物)、吉田諒蔵先生(土壌肥料)、日高八十七先生(栽桑・実習)と4人の専任の教授がついておられた。

昭和18年10月21日、明治神宮外苑競技場で、秋雨の冷たい中「学徒出陣」の壮行会が行われた。徴兵を猶余されていた大学高等専門学校の学生は、すべて兵役につくことになった。2万5千人の出陣学徒、見送る在学生は、女子学生を入れて107校、6万5千人であった。それほど降る雨の中、各学校ごと校旗を先頭に分列行

進が開始された。全国で出陣学徒は10万人と云われている。私は見送る側に。

### ○ 就職

昭和20年6月30日付で埼玉県蚕業試験場に奉職、昭和25年1月県庁の蚕糸課栽桑係に転出、4年の出先機関(繭検定所)の勤務を入れ、昭和58年3月31日、参事、蚕糸特産課長を退職するまで38年間であった。

### ○ おわりに

戦時中の学校生活は青春の名にそぐわない灰色であった。それから兵役(海軍予備学生)も、そして戦後のあの混乱した世相の中で、兎にも角にも夢中で勉強と仕事に務めた。良き学校、良き職場、良き先輩に恵まれ、学校で専攻した桑の栽培技術と同じ職場を与えられたことは、何にも代えられぬ幸せであった。退職後は「蚕史」の研究と「郷土史」の研究に打ち込み、著書として遺すことが出来た。これからは陋屋にこもり、自然の妙諦を垣間見ては、凡愚精進、晩節を全うしたいと思う。



## 退職にあたり

農学部・獣医学科

神田 尚俊 (獣医S45)

### 「光陰」

「歳月人を待たず」の通り、この度、16年余りの母校での教員生活を終え、無事定年を迎えられたことを感謝しつつ日々過ごしております。私たち団塊の世代が物心ついた頃、東京の町も各所に戦後の焼け野原があり、空には朝鮮戦争に向かう戦闘機の編隊が飛んでいました。よく遊んだ芝の増上寺本殿の焼け跡は秋になるとススキでおおわれ、その穂先は風に揺らめきながら夕陽に輝いていました。小学校高学年になる頃には、増上寺の隣で「東京タワー」の建設が始まり、毎日鉄骨が伸びてゆく様子を面白く眺めながら通学しましたが、今やこの電波塔もその役割を終えて、新電波塔の「スカイツリー」にバトンタッチ、「光陰矢の如し」を実感させてくれます。20代の頃の昔に読んだベンジャミン・フランクリンの「自伝」に、「終わりから考える」事の大切さが述べられておりましたが、今過ぎ去った時を振り返ってみると、その意味の重さがほろ苦さを持って感じられます。さて、これからの人生の残り時間はボランティアワークを通してささやかな社会貢献をしつつ、農工大の発展を外野席から応援したいと思っています。長い間大変お世話になりました。

農学部・地域生態システム学科

福嶋 司

昭和58年に着任以来、本学では一貫してブナ林や湿原などの自然の植物群落の保護と復元に関する教育・研究に従事して参りました。世界各国のブナ林や日本各地のブナ林の観察を通してブナと人々との密接な関係を学ぶことができました。また、ブナ林の急激な減少は全世界に共通で、日本も例外ではありませんでした。そのため、10年ほど前から消滅したブナ林を復元すべく、NPO法人を立ちあげて群馬県で植栽活動を始めました。この活動は定年後も続けるつもりです。28年余りの本学での生活でしたが、多くの方々と旨酒を酌み交わすことができました。それが薨じて大学ブランド焼酎「賞典禄」の製造にも絡むことになりました。味は申し分ないのに、売り上げは今ひとつのようで、もっと知名度が上がり、販売量の増加を期待しています。最後になりましたが、皆様のご健勝と東京農工大学のますますの発展を祈念し、ご挨拶と致します。

工学部・有機材料化学科

豊田 昭徳

企業での30年余の研究開発に引き続き、2001年11月以来、10年5カ月の間の農工大での教育研究を学内外の皆様方のご協力とご支援、さらに多くの学生の努力により無事に行うことが出



来ました。さらに、学生生活委員会関係、保健管理センターや科学博物館等の業務遂行、管理・運営の実行等におきましても、多くの皆さまと一緒に仕事が出来ましたこと、またご協力・支援により、なんとか使命・役割を果たすことが出来ましたことをありがたく思っています。今後は、2年後に迫りました農工大開基140周年の節目に向かい、同窓会の一員として農工大の一層の発展に向け、微力ながら協力して参りたいと思っています。

#### 工学部・機械システム工学科

船倉 正憲

振り返ると、本学で28年6ヶ月、熊本、岡山大学を含め38年7ヶ月にわたる大学生活でした。前任校では重要な雑務は教授の仕事、若手の仕事は教育・研究（そして酒づきあい）でした。本学では教授会メンバーとして大学運営に参画する権利と義務を与えられ、種々の委員会に出席し「大学人」としての自覚を強めました。大学の変化が不可避になり、組織改革にも関わり、いっそう重責を感じながら、多くの方々からの貴重な意見・助言により任務を果たしました。その間、研究は自分のペースでこなしましたが、今も心に残るのは、即結果を確認できない教育の怖さです。複数教員が担当する教育システムで、各学生に対しどの程度の責任が果たせたか。最低の仕事はできたのでは、と信ずるほかありません。こうして、大学生活を仕上げられたのは多くの、特に事務職員の方々の支援あってこそ、と感謝しております。

#### 工学部・情報工学科

和田 俱幸

昭和55（1980）年2月に小樽商科大学から東京農工大学（工学部所属・一般教育部数学担当・講師）に赴任しました。

初めて微積や線形代数を講義したときは緊張しました。生産機械工学科の学生は、私を同類と扱ってくれたようです。夏休みの宿題に、単なる計算問題だけでなく、自分で常々疑問に思ったいろいろな問題を出しました。自己を生成する機械を作ることは可能だろうかとか、地球の直径はどのように測定し計算するのだろうか等。とても楽しかったという学生もいました。

平成7年、一般教育部が大綱化による見直しで廃止になり、私は電子情報工学科の、情報工学講座に配属になりました。平成8年夏に文部省の短期在外研究員として、コペンハーゲン大学とエッセン大学へ2ヶ月の留学をしました。このときの経験はその後の私の研究に重要な影響を与え、有限群のカルタン行列の固有値が重要と感じました。その後の15年間で、荒削りながら、私は今まで知られていない有限群の性質を発表していきました。

教育者としても、研究者としても、やっと一人前に近づいたのかなというのが現在の心境です。難しいと思われがちな数学ですが、教えてみて感じるのは、かなり抽象的な数学でも学生達の若い頭脳には限界がないということです。新たな社会に出ても、大学で必死に勉強した経験がきっと役に立つでしょう。

# 平成23年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業とは、在学生（準会員）の学会発表、コンテスト・コンクール出場、優秀論文、サークル活動、学園祭などに対して援助金を支給し、在学生（準会員）を支援する事業です。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や、入学時に納入いただいた賛助会費を元に支出しております。平成23年度の援助金総額は¥4,320,000でした。ここにご報告申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 学会発表 (482件)

### ■ 大学院

大学院・専攻	修士課程又は博士前期過程		博士課程又は博士後期課程				計
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	4年次	
<b>工学府</b>							238
生命工学専攻	19	17	3	3	1		43
応用化学専攻	26	25	1	2			54
機械システム工学専攻	16	15	3	3	1		38
電子情報工学専攻			4	6	4		14
物理システム工学専攻	3	3					6
電気電子工学専攻	29	25					54
情報工学専攻	16	11					27
産業技術専攻(専門職学位課程)	2						2
<b>農学府</b>							67
生物生産科学専攻	4	9					13
共生持続社会学専攻							0
応用生命化学専攻	6	8					14
生物制御科学専攻	4	6					10
環境資源物質科学専攻	3	4					7
物質循環環境科学専攻	1	4					5
自然環境保全学専攻	6	8					14
農業環境工学専攻	2						2
国際環境農学専攻		2					2
<b>連合農学研究科</b>							20
生物生産学専攻							0
生物工学専攻							0
資源・環境学専攻							0
生物生産科学専攻			1	1	7		9
応用生命科学専攻					2		2
環境資源共生科学専攻			3	3	2		8
農業環境工学専攻							0
農林共生社会科学専攻			1				1
<b>連合獣医学研究科</b>							4
獣医学専攻				1		3	4
<b>生物システム応用科学府</b>							48
生物システム応用科学専攻	13	29		4			46
共同先進健康科学専攻				2			2
<b>技術経営研究科</b>							1
技術リスクマネジメント専攻		1					1
<b>合計</b>	150	167	16	25	17	3	378

### ■ 学部

学部・学科	3年次	4年次	5年次	6年次	計
<b>農学部</b>					30
生物生産学科		1			1
応用生物科学科		1			1
環境資源科学科		5			5
地域生態システム学科		5			5
獣医学科	1		5	12	18
<b>工学部</b>					74
生命工学科		14			14
応用分子化学科		5			5
有機材料化学科		4			4
化学システム工学科		4			4
機械システム工学科		15			15
物理システム工学科					0
電気電子工学科		18			18
情報コミュニケーション工学科					0
情報工学科		14			14
<b>合計</b>	1	86	5	12	104

## 2. コンテスト・コンクール等出場・入賞 (13件)

氏名	学科・専攻名	学年	コンクール・コンテスト名	賞の名称
1 宮原志穂璃	生物生産	3	第46回関東学生賞典馬場馬術競技大会	
2 郷 由梨	応用生物科	3	第49回関東学生馬術女子競技大会	
3 井上 香奈	地域生態システム	2	平成23年度関東学生会長杯	
4 樋山 沙織	地域生態システム	2	平成23年度関東学生会長杯	
5 堀江 真悠	獣 医	2	第32回キャロットステークス	
6 久米 紘一 (団体)	獣 医	3	第81回関東学生馬術争覇戦	第三位入賞
7 中島 沙記 (他3名 団体)	生命工	4	iGEM2011	Gold Medal, Best Poster Asia
8 太田 理子 (他1名 団体)	化学システム工	4	第10回プロセスデザイン学生コンテスト	住友化学賞
9 細川 茂樹 (他4名 団体)	情報工	4	テクノネサンス・ジャパン：第4回未来の夢アイデア・コンテスト 「BOOK TO THE FUTURE でんしてんじえほん」	
10 松村 泉	応用化学	M1	関東高分子若手研究会2010年度論文発表会	優秀発表賞ポスター部門
11 山田 洋平	機械システム工	M1	工作機械技術振興財団・第32回工作機械技術振興賞「曲線切断を可能とする丸のこ切削」	工作機械技術振興賞(奨励賞)
12 河内 智志 (他5名 団体)	情報工	M1	HASC Challenge シンポジウム 「携帯電話を用いた行動認識における格納場所の違いによる認識精度への影響に関する調査」	チャレンジ特別賞
13 辻 真志	電子情報工学	D2	電気通信普及財団・第26回テレコムシステム技術学生賞「Accurate Estimation of the Number of Weak Coherent Signals」	入賞

## 3. 優秀卒業論文 (8件)

氏名	学科	学年	卒論題目
1 田中 淳 酒井 弘貴	生物生産	4	ケールをバンカープランツとしたサツマイモ栽培における害虫の発生-シロヘリクチプトカメシの涵養を想定して-カイコ卵における極体の細胞形成について
2 寺田 智哉	地域生態システム	4	小型ロングリーチラップルを用いた木寄せ集材作業の生産性
3 北条 友里	獣 医	6	Liver tumor promoting effect of etofenprox in rats and its possible mechanism of action
4 山本 雅納	応用分子化	4	アシルチタノセンとケトンの反応による連続する二つの第四級炭素の立体選択的構築
5 久保田有紀	有機材料化	4	海島ナノ相分離構造を有するイオン伝導性エラストマーブレンドの作製と帯電防止性能の評価
6 Lee Wan Ying	化学システム工	4	ミリ流路でおセグメントフローを用いた鋳型晶析による微結晶粒子群の製造
7 張天翔	機械システム工	4	歩行パターンに基づいた個人識別と感情認識
8 白井 信悟	物理システム工	4	ニオブ酸リチウム結晶におけるラムンスペクトルの電場依存性の観測

## 4. 課外活動

(1) サークル活動 20件

氏名	学科	学年	サークル名	部長氏名	活動及び大会名
1 廣谷 美咲	生物生産	2	吹奏楽団	友広 憲人	5月アンサンブルアタック、11月学園祭、12月定期演奏会
2 中村 好佑	生物生産	2	ピアノ部	松岡 悠斗	夏・冬に Concert of the Error を開催 夏93th 国立市民芸術小ホール於 冬94th 武蔵野公会堂於
3 北岡 大知	生物生産	3	弓道部	北岡 大知	3月新人戦、6月全関東学生弓道選手権大会、8月全日本学生弓道大会選手権大会・合宿、9.10月リーグ戦 その他試合多数出場
4 林 敦	生物生産	3	ワンダーフォーゲル部	林 敦	1月雪上訓練・スキー合宿、5月新歓合宿、11月リーダー養成合宿、12月谷川岳 その他合宿等多数
5 徳永 智美	応用生物科	3	写真部	徳永 智美	現像講習、学内・学外展示、府中市ウィーン交流展示手伝い、合宿等
6 鈴木 絢香	応用生物科	3	竹桐会	鈴木 絢香	春の演奏会、合宿、定期演奏会、学生三曲連盟の演奏会
7 中島 俊光	応用生物科	3	落語研究会	中島 俊光	4月新歓講演、5月かつお寄席、6月農工落語会、9月百神落語会、11月学園口演、12月卒業口演 その他寄席、落語等会多数
8 鈴木 徳馬	環境資源科	3	合気道部	鈴木 徳馬	5月新人歓迎稽古、9月夏合宿、11月学園祭にて演武会、2月春合宿 その他稽古・合宿
9 津上洋太郎	地域生態システム	2	野生動物研究会	津上洋太郎	野生動物について研究し知識を深める、バードソン2010にて5位を記録
10 市谷 優太	地域生態システム	2	オリエンテーリング部	赤川 裕貴	5月新歓、6月東大大会、8月夏合宿、9月秋合宿、11月インカレロング～3月インカレミドル その他毎月関東近辺の山で練習会
11 川上 彩穂	地域生態システム	4	ねいちゃー組	川上 彩穂	小学校、動物園などで自然体験プログラム実施(ネイチャーゲーム)
12 後藤 瞬	獣 医	3	のたつと～人と動物を結ぶ会～	後藤 瞬	小学校や保育園、公園での動物ふれあい授業、体験の実施、動物を用いた学習効果の増強や命の大切さを体験
13 河西 秀和	生命工	3	軟式庭球部	河西 秀和	練習、春秋大会出場(関東学生ソフトテニス大会・関東理工系大学ソフトテニス大会・三大戦)
14 山中 紀幸	物理システム工	3	バドミントン部	山中 紀幸	春秋リーグ戦、国公立大会、理工系大会、三多摩大会参加
15 関 拓和	機械システム工	2	演劇部	関 拓和	4月春公演、7月新人公演、11月学園国際公演に参加・練習
16 平尾 彰吾	生命工	2	硬式野球部	伏見 康孝	東京新大野球連盟春季リーグ戦参加、3部2位
17 高澤 解人	応用分子化	3	ラグビー部	高澤 解人	国公立大会、地区対抗リーグ関東一区
18 上田 貴生	応用分子化	3	水泳部	上田 貴生	毎週火水金練習、東日本理工系大学選手権水泳競技大会などその他大会多数出場
19 柳沢 英希	機械システム工	2	航空研究会	柳沢 英希	4月鳥人間コンテスト滑空機部門に応募～10月全日本学生飛行ロボット大会、11月学園国際展示 その他多数大会出場
20 飯塚 友洋	機械システム工	3	ジャグリング@Jug	飯塚 友洋	ジャグリングショー、ジャグリング教室

(2) 学園祭 2件

農学部/工学部(第53回学園祭実行委員会)

(3) サークルリーダートレーニング 1件

サークルリーダートレーニング研修会、学生OBによる講演

## 5. キャリアアドバイザー支援 2名

学生の皆さんが、進路や就職について個別に指導・助言を受けられるように、豊富な経験と知識を有する相談員(キャリアアドバイザー)2名を同窓会から支援しております

櫻井 邦雄(農化 S37)/深水 智明(織工 S38)



## 同窓会役員等体制

### 会 長 (平成23・24年度)

藤森 明彦 (工化S42)

### 副 会 長 (平成23・24年度)

藤巻 宏 (農 S36)	星野 義延 (環保S53)	羽田 有輝 (製糸S43)	宇野 亨 (電気S55)
草野 洋一 (養蚕S47)	松井 英輔 (林 S38)	千田 武 (織高S46)	伊東 浩 (応物S52)
佐藤 令一 (植防S54)	加藤 誠 (農工S44)	木村 雅俊 (化工S48)	大島 浩太 (電情H13)
大島誠之助 (農化S43)	本間 秀和 (地生H12)	遠藤 幸一 (工化S46)	加藤 美治 (MOT H21)
土居 修一 (林産S45)	田谷 一善 (獣医S46)	尾崎 幸信 (機械S52)	齋藤 隆 (生シ院H11)

### 常務理事・監事 (平成24・25年度)

#### 常務理事

理 事 長 渡邊 敏行 (材料S61)  
 副理事長 鈴木 創三 (農 S47)  
 総務部長 滝山 博志 (化工S62)  
 副部長 大里 耕司 (農工S52) 総会担当  
 〃 千年 篤 (農 S58) 支部担当  
 〃 ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク (機シス院H14) 会務担当

経理部長 多羅尾光徳 (環保H3)  
 副部長 斎藤美佳子 (工化H1)

#### 監 事

深水 智明 (織工S38)  
 生原喜久雄 (林 S41)  
 竹内 道雄 (農化院S50)

事業部長 渡辺 元 (獣医S54)  
 〃 淵野雄二郎 (農 S43) 海外支部担当  
 副部長 西澤 宇一 (機シスH12) 企画担当  
 〃 渡辺 直明 (林 S51) 分収林担当  
 情報部長 夏 恒 (機シス工博H7)  
 副部長 近江 正陽 (林産S60)  
 広報部長 亀山 秀雄 (化工S48)  
 副部長 野村 義宏 (農化S59) HP担当  
 副部長 野口 恵一 (材料H1) HP担当  
 副部長 馬場真知子 (林学院S51) 会報担当  
 副部長 富永 洋一 (物生H7) 会報担当

事務局長 山田 昭一

## 同窓会支部長及び連絡員

(平成24年6月1日現在)

支部名	支部長名	連絡員名
北海道	長谷川 周一 (農工S46)	宇野沢正美 (農工S46)
青 森	野村 昌志 (農工S39)	大橋 統州 (農 S54)
秋 田	野村 俊悦 (農 S44)	吉田 育男 (植防H4)
岩 手	黒田 榮喜 (農 S52)	藤原 哲雄 (農 S60)
山 形	河野 誼 (獣医S45)	川崎 聡明 (生産H9)
宮 城	田畑 正紀 (林S55)	佐藤 大輔 (林 H4)
福 島	生沼 俊夫 (養蚕S35)	阿部 正久 (林 H5)
茨 城	川村 重信 (養蚕S40)	藍原 伸夫 (蚕糸S59)
栃 木	村松梅太郎 (獣医S39)	南木 好樹 (農工S58)
群 馬	小野宇三郎 (織別S33)	唐澤 道央 (生産H7)
埼 玉	善林 六朗 (農S40)	金子 知人 (植防S60)
千 葉	中村 圭一 (林S39)	豊田 祐輔 (蚕糸H3)
東 京	馬場 信行 (林S35)	山本 賢 (農工S43)
神奈川	則武 宏一 (農工S41)	青木 稔 (獣医S54)
新 潟	中村 幸夫 (農S32)	村山 康則 (農 H3)
富 山	青木 誠 (農S37)	加門 克己 (環・資H6)
石 川	北川 康一 (農工S46)	西山 宏 (環・資H6)
福 井	島田 昭男 (林S38)	新海 隆介 (環・資H12)
山 梨	山下 健市 (養蚕S34)	原 昌司 (蚕糸S60)
長 野	鮎澤 光昭 (養蚕S42)	城取 和茂 (農工H3)
岐 阜	武野 明義 (織高S60)	安田 勝年 (製糸S42)
静 岡	水口 衛 (獣医S29)	五十嵐香介 (地生H15)
愛 知	上井 和彦 (農S33)	水野銚一郎 (農 S42)
三 重	吉田 譲 (獣医S45)	古野 優 (獣医S60)

支部名	支部長名	連絡員名
大 阪	暮石 裕 (林 S35)	長井 龍 (高工S61)
京 都	植村左千夫 (林S20)	西村 寿 (農工S50)
滋 賀	勝田 謙次 (織化S34)	南井 隆 (林 H1)
奈 良	太田 道明 (農工S42)	望月 昇 (化工S57)
和歌山	山本 湧蔵 (林S23)	中村 純子 (環・資H6)
兵 庫	橋田 勝明 (獣医S46)	安徳 剛志 (林 S59)
岡 山	内藤 照章 (獣医S34)	佐藤 和久 (農 S54)
広 島	藤本 修身 (農化S44)	三宅 信行 (環保S55)
山 口	赤木 道博 (獣医S49)	岡本 賢一 (植防H4)
鳥 取	西尾 邑次 (農S17・9)	小林 壽 (製糸S24)
島 根	中尾 清治 (農工S34)	松浦 史瑞 (林産H1)
香 川	岡崎 進 (獣医S38)	河野 幸彦 (林 S63)
徳 島	岡田 幸助 (林S28)	小杉純一郎 (林 S63)
高 知	松田 誠祐 (農工S39)	寺峰 孜 (養蚕S45)
愛 媛	門屋 一臣 (農S33)	白石 郁朗 (農S46)
福 岡	西田 晴二 (獣医S41)	白石 哲広 (林産S50)
佐 賀	御厨 秀樹 (植防S56) (代行)	御厨 秀樹 (植防S56)
長 崎	本多 正二 (製糸S32)	片岡 正登 (製糸S48)
熊 本	小本 徹 (林S41)	上野 周子 (植防S61)
大 分	大野 司朗 (農工S45)	古長 茂亜 (林産S63)
宮 崎	小崎 宏 (農S45)	井上新三郎 (農工S54)
鹿児島	上原 武志 (植防S42)	平 繁人 (養蚕S45)
沖 縄	城間 恒紀 (農化S42)	河口 哲也 (応生H6)
横浜会	児玉 満男 (製糸S34)	加藤裕二郎 (製糸S44)

# 部会・支部だより

報告の際は同窓会ホームページの「部会・支部便り」から「別紙 掲載記事」をご使用下さい。幹事のコメントは200字程度で内容は自由にご記入下さい。

## 富山県支部



日 時 平成23年3月12日  
 開催場所 砺波市「庄川温泉ゆめつづり」  
 参加人数 12名  
 議事内容 H22年度会計報告  
 幹事・報告者 加門 克己（環・資H6）

## 新潟県支部



日 時 平成23年6月4日  
 開催場所 新潟市「割烹 渡辺」  
 参加人数 22名  
 幹事・報告者 村山 康則（農H3）

### <幹事のコメント>

今年の総会は、6月4日（土）22人の参加により新潟市西蒲区で開催しました。総会前に研修会として、会員の堀利明さん（獣医52年卒）が担当されている畜産農家「藤田ファーム」を訪問し、乳牛の管理や6次産業化の取組（直売所、体験農場）などのお話を聞かせていただきました。その後の総会では、近況報告などで盛り上がり、来年の再会を誓い合いました。

## 京都支部



日 時 平成23年7月16日  
 開催場所 京都平安ホテル  
 参加人数 12名  
 幹事・報告者 平野 孝志（農工S53）/  
 西村 寿（農工S50）

### <幹事のコメント>

7月16日は祇園祭・宵山。京都で最も暑い1日です。祇園祭は京都東山・八坂神社の祭礼として7月1日の「吉符入り」にはじまり、31日の「疫神社夏越祭」まで1ヶ月にわたって行われます。貞観11年（869年）、京都をはじめ全国各地に疫病が流行し、当時の人々はこれを牛頭天王の祟りであると恐れられました。同年には、三陸沖で今年の大震災に匹敵するといわれている貞観大地震も発生しています。そこで二条城の南側にある神泉苑に当時の国数にちなんで66本の鉦を立て、祇園の神を祭り、さらに御輿をかついで疫病退散を祈願して始められた「祇園御霊会」が起源といわれています。

宵山に47万人が繰り出したこの日、昨年に引き続き同窓会京都支部の総会・交流会が12名の参加で行われました。植村左千夫支部長（昭20林卒）の挨拶に続き、西村寿連絡員（昭50農工卒）から本部総会報告と被災同窓生への義援金募集の案内、支部会計報告、そして平野正史氏（昭36農卒）の乾杯発声で交流会が行われました。交流会では、新制大学移行期の当時の関係者しか知らない大学史にも載っていない大学名称を巡るエピソードが披露され、大学の歴史の変遷に感心する場面もあり、来年の再会を楽しみに散会となりました。

## 秋田県支部



日 時 平成23年7月30日  
 開催場所 「うたせ」  
 派遣理事名 渡辺直明常務理事  
 参加人数 23名  
 議事内容 新理事長の選出、会計報告  
 講演・討論等 渡辺常務理事から母校の近況報告とミニ講演会、会員の近況報告  
 幹事・報告者 舩谷 雅広（農工S61）

## 島根県支部



日 時 平成23年8月20日  
 開催場所 松江市「ホテル宍道湖」  
 参加人数 12名  
 幹事・報告者 松浦 史瑞（林産H1）

### <幹事のコメント>

久々に新入会員の参加があり、例年より参加人数多く農工ブランド焼酎「賞典祿」を飲みながら大いに盛り上がりました。県内在住の方の出席をお待ちしています。

## 三重県支部



日 時 平成23年9月11日  
 開催場所 津市「新玉亭」  
 派遣理事名 大里耕司常務理事  
 参加人数 12名  
 議事内容 本部総会報告、役員改選  
 講演・討論等 大里常務理事より母校の近況報告  
 幹事・報告者 古野 優（獣医S60）



## 北海道支部



日 時 平成23年9月28日  
 開催場所 KKRホテル札幌  
 派遣理事名 高橋幸資理事長  
 参加人数 15名  
 講演・討論等 高橋理事長講演会、演題「同窓会の現状と課題などについて」、懇親会  
 幹事・報告者 宇野沢正美（農工S46）

## 徳島県支部



日 時 平成23年10月15日  
 開催場所 伊月笹乃庄  
 参加人数 9名  
 幹事・報告者 小杉純一郎（林S63）

### <幹事のコメント>

去る平成23年10月15日に、徳島県支部の平成23年度総会を開催しました。会場は恒例の「伊月笹乃庄」で、県内の各界で活躍されている幅広い年代の同窓の方々にご出席いただきました。総会では収支報告など定例の議事のほか、今年は本部による「同窓会の現状と課題およびその取組みと具体対応について」に沿って、同窓会のあり方について若干の協議を行いました。本部がNPO法人に移行した場合の支部への影響などについて意見が出されました。総会後の懇親会では、美味しい料理もそっちのけで様々な話題に花が咲き、大いに交流を深めることが出来ました。日頃出会うことのない同窓の方々との懇親の場として、和気藹々とした雰囲気で開催しておりますので、徳島県支部の皆様、ぜひご出席ください。

## 福島県支部



日 時 平成23年10月15日  
 開催場所 福島ビューホテル  
 派遣理事名 鈴木創三常務理事  
 参加人数 31名  
 議事内容 H22年度事業報告、H23年度事業計画の承認、役員改選  
 講演・討論等 鈴木常務理事から農工大の近況について、懇親会  
 幹事・報告者 阿部 正久（林H5）

### <幹事のコメント>

総会終了後は、恒例の懇親会を開催しました。乾杯後、鈴木教授から母校の近況や同窓会本部として取り組んでいる活動についてご紹介いただきました。また、大学校歌を教授と参加者が一緒に熱唱するなど、冒頭から和やかな雰囲気の中で会が進行しました。会の閉めは、長澤新幹事の万歳三唱により行い、参加者の面々は来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

## 神奈川県支部



日 時 平成23年9月17日  
 開催場所 オークラフロンティアホテル  
 派遣理事名 鈴木創三常務理事  
 参加人数 27名  
 議事内容 H22年度決算及び監査報告について、H23年度予算の承認について、東日本震災救援募金活動の報告について  
 講演・討論等 鈴木常務理事から農工大の近況について、懇親会  
 幹事・報告者 荒井 信行（獣医S57）/  
 青木 稔（獣医S54）

### <幹事のコメント>

派遣理事の農学研究院生物生産学部門の鈴木先生の洒落なユーモアあふれるお話で大学の近況を伺い、垢抜けた大学の姿容に参加者一同驚きました。総会通知を450名に出したわけですが、出席者は27名にとどまり、結局名簿の1ページ目に記載された常連の方々が多くを占めました。60人以上は入れそうな大きなホテル宴会場に対して27人の出席者ではちょっと寂しい感じだったので、来年はこの会場を一杯にしようという終わりの挨拶のあと、唯一の女性参加者である獣医学科卒業生の「手締め」でほのぼのとした総会を終えました。

## 奈良県支部



日 時 平成23年10月22日  
 開催場所 太田酒造（株）  
 派遣理事名 渡邊敏行副理事長  
 参加人数 11名  
 幹事・報告者 望月 昇（化工S57）

### <幹事のコメント>

今年3月以来平成23年2度目の会合となりました。今回は支部長宅である太田酒造での開催となりました。当初12名の支部員が参加予定でしたが、当日都合が悪くなった1名を除く11名が参加しました。本部からは渡邊副理事長が参加されました。前回までの参加は全員が昭和60年以前の卒業生でしたが、今回は今年度及び昨年度の卒業生3名の参加を含む6人の初参加があり、今までと違った顔ぶれとなりました。開催に先立ち、支部長により到着した会員に順次酒蔵内部を案内していただきました。酒蔵は江戸時代中～後期の建物とのことで平成13年4月に登録有形文化財の指定を受けており、テレビ局もよく取材に来ているそうです。酒造見学の後に、あいさつ・支部長からの総会参加の報告がありました。その後、乾杯から宴が始まり、各会員が自己紹介をして、各々歓談に移りました。支部長宅なので時間を気にすることなく、さらに酒造会社なので日本酒はもちろんその他の種類の酒も飲み切れないほどあったため、食べきれないほどの料理を前に話は大いに盛り上がり、宴が終了したのは18時前でした。次回の支部会での参加を約束して各々帰途につきました。会合終了後には、お土産に支部長宅で製造している日本酒や奈良漬を購入する会員もいました。日本酒は初時雨という銘柄で、大吟醸酒、純米酒、原酒などの種類があります。奈良漬は昔ながらの製法で保存料や人口甘味料などを一切使わず、毎年漬け換えて3年間寝かせたものとのことです。通信販売もされていますので、興味のある方は下記HPをご参照いただくか、「奈良 太田酒造」で検索してください。http://www.asakawa-mc.com/nara/nara03\_008.htm

## 北海道支部



日 時 平成23年12月10日  
 開催場所 KKRホテル札幌  
 派遣理事名 淵野雄二郎常務理事  
 参加人数 15名  
 議事内容 H23年度事業報告、会計報告、H23年度監査報告、H24年度事業計画・予算、役員改選  
 講演・討論等 淵野雄二郎常務理事より母校の現状報告、ミニ講演会「これからの地域農場」、懇親会  
 幹事・報告者 宇野沢正美（農工S46）

### <幹事のコメント>

本会では、当該年度の事業報告、翌年度の事業計画等の決定に続き役員改選が行われました。この結果、平成18年より5年間支部長を務めてこられた東海大学前副学長西村弘行氏（農化S42卒）に代わり、北海道大学名誉教授である長谷川周一氏（農工S46卒）が新支部長に選ばれました。西村前支部長、長い間大変ご苦労様でした。この後、本部からの派遣理事であります淵野雄二郎氏より母校の現状報告をいただき、続いて同氏により「これからの地域農場」と題して講演をしていただきました。今後の同窓会では、固定化しつつある参加メンバーに、如何にして新たな若いメンバーを増やしていくかが課題となっています。（追伸）昭和40年から50年代に北海道開発局に在職し、北海道における同窓会組織と活動の基礎作りに尽力された矢野義治氏（養蚕35卒）が昨年12月にご逝去されました。支部会員一同、生前の活動に深く感謝するとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。



## 静岡県支部



日 時 平成24年3月3日  
 開催場所 クーボール会館  
 派遣理事名 亀山秀雄常務理事  
 参加人数 43名  
 議事内容 H23年度事業報告、H24年度事業計画、H24年度からH26年度の役員について  
 講演・討論等 丸山直樹(林S41)氏による講演「オオカミによる生態系の復元について」  
 幹事・報告者 五十嵐香介(地生H15)

## 愛知県支部



日 時 平成24年3月24日  
 開催場所 名古屋市「百楽」  
 派遣理事名 鈴木創三常務理事  
 参加人数 13名  
 議事内容 第46期収支決算報告、ウォーキングの実施  
 講演・討論等 鈴木常務理事より同窓会50周年記念事業募金のお礼と事業計画、母校の近況報告、「家庭菜園土壌の維持管理」、懇親会  
 幹事・報告者 北原 敬悟(農工S31)

<幹事のコメント>  
 愛知は日本のものづくりの中心で、工学系のOBが多数見えると思いますがなかなか出席していただけません。出席者の顔ぶれが決まってきましたが、最高齢の久野幸三様(獣17・9卒 89歳)には、体が動くうちは必ず出席するとの力強いお言葉をいただきました。そんなことで懇談は大いに盛り上がり、同窓の絆を深めることができました。

## 広島県支部



日 時 平成24年3月25日  
 開催場所 鯉城会館  
 派遣理事名 高橋理事長  
 参加人数 16名  
 議事内容 会計報告、役員承認  
 講演・討論等 高橋理事長より大学の現状報告  
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>  
 今回は、前回の出席者の皆さんからの声もありましたので、懇親会前に高橋理事長からのミニ講演と藤本支部長からのミニミニ講演をお願いするとともに恒例としていた懇親会中の出席者の近況報告をやめました。  
 次回も出席者の皆さんに楽しんでいただけるよう無い知恵を絞るつもりですが、まずは年度の早い時期に開催することをがんばりたいと思っています。広島県支部の皆さん、ぜひご出席を、欠席でもご返信のほどをよろしく願います。

## 山梨県支部



日 時 平成24年3月10日  
 開催場所 甲府市「ホテル談露館」  
 派遣理事名 淵野雄二郎常務理事  
 参加人数 36名  
 幹事・報告者 依田 健人(製系S57)

<幹事のコメント>  
 山梨県支部総会が3月10日(土)に甲府市内「ホテル談露館」において開催されました。山梨県支部では、概ね2~3年ごとに総会を開催することとしていますので、今回が第12回の総会となります。午前中は、あいにくの雨模様でしたが、36名の支部会員が集まってくることができました。  
 正午からの総会は、支部物故者並びに東日本大震災被災者への黙祷から始まり、今期の事業報告、会計報告が行われ、新たな役員として、山下健市支部長(昭34養蚕)、倉島脩二副支部長(昭34獣医)、名取五郎副支部長(昭34養蚕)、石川昇副支部長(昭37農学)の皆さんが選出されました。続いて、本部からご出席を賜った淵野雄二郎先生(昭44農学、本学名誉教授)から、大学の近況を詳しく聞かせていただくことができました。特に、学生寮がワンルームマンション形式に変わったことについては、年配の会員から驚きの声が出るとともに、時代の移り変わりを実感いたしました。懇親会では、山下実支部顧問(昭24農学)の旭日小綬章受章をご紹介するとともに、出席者の皆さんから近況報告が行われ、互いの顔を見合わせながら旧交を温めることができました。記念撮影、大学歌斉唱、万歳三唱を行い、次回の再会を約束しながら、午後2時過ぎにお開きとなりました。

## 鹿児島県支部



日 時 平成24年4月11日  
 開催場所 「吾愛人(わかな)」中央駅店  
 派遣理事名 高橋幸資理事長  
 参加人数 6名  
 幹事・報告者 平 繁人(養蚕S45)

<幹事のコメント>  
 10数年以上(生まれた子供が高校生になるくらいの間だったようです。)休眠状態にありました同窓会鹿児島支部の活動を再開すべく、23年度総会を本学同窓会の高橋理事長をお迎えして、平成24年4月11日(水)に開催しました。  
 休眠期間が長かったことから、会員の把握が当面の課題ということで、今回の参加者は6名とやや寂しい再スタートとなりました。  
 総会では、高橋理事長から最近の本学の状況などを、御紹介いただいた後、役員を選出を行いました。  
 前回総会が、15、6年前ということですので、当時の先輩方はかなりの御高齢になっていらっしゃることを考えますと、今回の出席者から役員を選出させていただきました。その結果、支部長は上原武志氏(補植S42)に、代議員・連絡員を平繁人氏(養蚕S45)をお願いすることとなりました。  
 また、24年度総会を10~11月に開催することとし、各自会員の把握に努めることを確認しました。  
 その後、懇親会の運びとなったわけですが、50年ほどの寮生活の話で盛り上がるなど、少人数にもかかわらず、熱い夜となりました(3時間超の会合でした)。なお、上記以外の出席者は、以下のとおり。  
 二俣文生(農工S45)、遠矢栄久(林産S50)、長谷川信幸(製系S54)、別宮正浩(製系S60)

## 愛知県支部



日 時 平成24年4月24日  
 開催場所 名古屋市内  
 参加人数 6名  
 幹事・報告者 北原 敬悟(農工S31)

<幹事のコメント>  
 愛知県支部ウォーキング開催  
 新緑の4月24日、熱田神宮東門に集まり、まず神宮を参拝し、祈願した絵馬の中に 母校への合格を願ったものを見つけ、氣を良くして歩き始めました。旧東海道の道標、源頼朝の誕生地、白鳥古墳、由緒ある神社、お寺など、上井和彦さん(支部長農33)の解説とそれを補完する、中村英康さん(機41)の豊富な知識で、名古屋の知られざる歴史に触れることができました。ウォーキングの終点は名古屋の繁華街・大須で歩行距離は約8キロでした。  
 今回はウィークデイでしたが、次は働いているOBも参加できるよう休日に計画したいと考えています。愛知県内のOBには限りませんので近県の方の参加も期待します。ゴルフも計画していますので、下記メールアドレスまで連絡ください。  
 北原敬悟(農工S31)  
 ktwo8611@mvg.biglobe.ne.jp



## 沖縄県支部



日時 平成24年4月28日  
 開催場所 浦添市産業振興センター(結の街)  
 派遣理事名 馬場真知子常務理事  
 参加人数 12名  
 議事内容 会計報告、役員改選・承認  
 講演・討論等 馬場常務理事より大学の現況、  
 募金のお礼、講演・懇親会  
 幹事・報告者 河口 哲也(応生H6)

## 新潟県支部



日時 平成24年6月2日  
 開催場所 割烹「渡辺」  
 参加人数 23名  
 幹事・報告者: 村山 康則(農H3)

### <幹事のコメント>

今年の総会は、6月2日(土)23人の参加により新潟市西蒲区で開催しました。総会前の研修会で「玉木農園」を視察し、米輸出の取組を聞かせていただきました。その後の総会では、近況報告などで盛り上がり、来年の再会を誓い合いました。

## 熊本県支部



日時 平成24年6月2日  
 開催場所 チサンホテル熊本  
 派遣理事名 西澤宇一常務理事  
 参加人数 26名  
 議事内容 平成23年度会計報告、熊本県  
 支部会員の動静、役員改選  
 幹事・報告者 上野 周子(植防S61)

### <幹事のコメント>

- ・西澤先生より、現在の農工大学の概要(新たな140周年記念会館の状況等)について話題提供され、会員皆懐かしい大学の変遷に思いを寄せました。懇親会の中でも、旧駒場寮、旧樺寮、旧楓寮でのかつての学生時代の話に花が咲きました。
- ・林田氏が国政における動き等の報告をされるなど、各種活動をされる会員の情報交換の場ともなりました。
- ・熊本県支部の会員数も80名を切り、年々減少し寂しい状況ですが、今年も91歳の佐々木会員が出席されるとともに、今年も2名の新規会員を迎え、大変うれしい会となりました。
- ・来年もまた多くの県支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

# クラス会だより

報告の際は同窓会ホームページの「クラス会便り」から「別紙 掲載記事」をご使用下さい。幹事のコメントは200字程度で内容は自由にご記入下さい。

## 機械科昭49年卒クラス会

S49機械工学科卒



日時 平成23年6月25~26日  
 開催場所 有馬温泉  
 参加人数 20名  
 幹事・報告者 榎本 一男(機械S49)

### <幹事のコメント>

工学部機械工学科1974年卒業者の会です。卒業以来毎年10名程参加し開催している新宿クラス会兼新年会で相談し、区切りの同窓会は新年会に中々出てこれない旧友も多い関西地区で実施しようという決め、澤野君(写真も担当)や関西在住の五戸・浅場両君の助けを借り準備を始めました。名簿を頼りにMailやTelで連絡をとった結果、20名+奥様1名を集めることが出来ました。当日は卒業以来の再会もあったりしてホテルロビーで最初から盛り上がり、同窓会は米澤・河面両君の乾杯にはじまり楽しい時を過ごしました。また、翌26日も天候に恵まれ、皆で六甲山まで移動し六甲ガーデンテラスで昼食会を実施。そこで次回の熱海開催の約束をし、閉会となりました。今回参加できなかった方も次回参加のほど、宜しくお願いします。

## S46林学科クラス会

S46林学科卒



日時 平成23年8月27~28日  
 開催場所 熱海市・川添幸春君の別荘  
 参加人数 9名  
 実施事項 卒業40周年記念の情報交換・  
 親睦・林木学実習  
 幹事・報告者 横堀 誠(林S46)・  
 和田 均(林S46)

### <幹事のコメント>

1971卒28名(所在は林猶美君:都立昭和高校'70卒のみ不明)/'72卒2名/中退1名の30名が東京で忘年会を継続し、全員健在と塚本先生から褒められているクラスです。今回、卒業40周年記念に2011年8月川添幸春君夫妻のご協力で熱海市の別荘にて写真のクラス会を行いました。半田孝俊君を講師役に林木学実習も兼ねた散策で楽しく汗を流し、再会を約束しました。なお、林君の所在が分かれば大学同窓会までお知らせ願います(報告:横堀 誠)。

## S40年林学科卒クラス会

S40林学科卒



日時 平成23年9月29日  
 開催場所 北海道 層雲峡温泉  
 参加人数 15名  
 実施事項 近況報告、懇親  
 幹事・報告者 佐藤 重孝(林S40)

### <幹事のコメント>

昭和40年林学科卒のクラス会は15年前ぐらいから毎年開催しております。クラス会ごとに次回の幹事を決め、幹事の住居の近くの温泉ホテル等で開催しております。今年も層雲峡で、学生時代を思い出しながら、とても楽しい会でした。当クラス会は来年は千葉県赤井君が幹事です。また元気で来年も会いましょう。

**32化学会**

S32繊維化学科卒



日 時 平成23年10月6～7日  
 開催場所 稲取温泉「KKR稲取」  
 参加人数 9名  
 実施事項 親睦・近況報告  
 幹事・報告者 有澤 清（織化S32）

## &lt;幹事のコメント&gt;

参加は、石田、泉、井出、工藤、小林、清水（康）、長井、西村、有澤の9名。一夜を語り明かした翌日は伊豆アニマルキングダムで動物と交流し童心に帰った。喜寿を超えた一同で、殆んどが一病息災の状態だがすこぶる意気軒昂で2年後の再会を期した。前夜発で富山から駆けつけた泉会員以外は首都圏の在住者。2年に1度の旅行を始めてから湯河原、熱海、別所、水上、稲取と会を重ね、初期には関西、中京からの参加もあったが、今はこのとおり。なお、平成22年には臨時クラス会で応用化学会同窓会総会に参加し、学内見学も行った。

**農学科36年卒クラス会**

S36農学科卒



日 時 平成23年10月21日  
 開催場所 母校農学部キャンパス、大國魂神社  
 参加人数 11名  
 実施事項 母校の近況、親睦  
 幹事・報告者 大角 宏一（農S36）、森蘭幸二郎（農S36）

## &lt;幹事のコメント&gt;

平成23年10月21日に農学部キャンパスに11名が集まりクラス会を開催しました。クラス会は2年に1回、幹事は当番制で開催していますが、今回は卒業後50年の記念の節目に当たり、また母校は創基140周年（2014年）同窓会は創立50周年（2012年）を迎えるとのこと。このようなことから久しぶりに母校の近況、140周年、50周年事業の概要を聞くことにしました。

これについては鈴木創三教授が詳細に説明、また農場では荻原教授が果樹を対象にした植物工場を研究しているとのこと、現在は春、夏、秋、冬の季節を温度、日長などを調節した環境下での成育試験の説明を聞き、見学をしました。教授の説明や見学をしながら学校も時代の変化に対応し進展しているように思いました。また、創基140周年を契機にさらなる発展を期待したいです。

その後の宴会はこれまた懐かしい大國魂神社の結婚式場宴会場で開き、それぞれが50年の思い出話、それはその間の変遷、その重みは長いようで短いような人生だったような話であったように感じたのではないかと思います。

また、2年先の再会を約束して別れました。

**機械81会**

S56機械工学科卒



日 時 平成23年10月22～23日  
 開催場所 石和温泉「ホテル花いさわ」  
 参加人数 5名  
 実施事項 親睦  
 幹事・報告者 阿部 典之（機械S56）

## &lt;幹事のコメント&gt;

機械81会は、工学部機械工学科1981年卒業（1977年入学）の会です。

クラス会は2年毎に開いていて、今回は3回目ですが、会員がまだ50才代で、仕事で現役者ばかりで多忙なため、参加者が少なくなりましたが、増田、小山内、砂原、奥脇、阿部が集まり、温泉、歌合戦して、楽しい懇談会となりました。

今後も定期的にクラス会開催を続け、仲間に会える機会を作っていきます。

また、クラス会の他に、東京で有志が集まる会を不定期で開いていますので、クラス会等の連絡が取れていない方は、幹事阿部までご一報ください。

**S34養蚕学科**

S34養蚕学科卒



日 時 平成23年10月19～20日  
 開催場所 石和温泉「京水荘」・富士山五合目  
 参加人数 9名  
 実施事項 近況交換、親睦  
 幹事・報告者 名取 五郎（養蚕S34）

**S31農学科・農芸化学科合同クラス会**

S31農学科卒・S31農芸化学科卒



日 時 平成23年10月27日  
 開催場所 「響」有楽町イトシア店  
 参加人数 農学科5名・農芸化学科5名  
 実施事項 情報、近況交換、親睦  
 幹事・報告者 渋谷 成美（農S31）

**F33クラス会**

S33林学科卒



日 時 平成23年10月28日  
 開催場所 代々木クラブ（新日鐵）  
 参加人数 11名  
 幹事・報告者 小島 工（林S33）

## &lt;幹事のコメント&gt;

東京農工大学同窓会東京集會（平成13年2月11日）以来10年振りにクラス会を開催、卒業生32名中関東東地区在住11名が参集した。

物故者8名への黙祷で始まり、既に75歳から80歳になった同期生が近況報告を中心に快談、皆元気で来年も集まろうと約束した。



## 農芸化学科S28年卒同期会

S28農芸化学科卒



日時 平成23年10月28～29日  
 開催場所 スパティオ小淵沢（山梨）  
 参加人数 8名  
 幹事・報告者 関 登世彦（農化S28）、  
 中津 純（農化S28）

### <実施事項>

今後の活動方針：みな傘寿を過ぎたが、今後も会として存続し、親睦を主体として活動することにした。また来年の幹事は石山、山田が担当する。

親睦：地元栢森氏のお世話で、八ヶ岳山麓の温泉と自然のエキスを満喫しながら、時の経つのも忘れて、懐旧談に華を咲かせた。翌日はサントリー白州工場を見学して昔学んだ発酵化学を復習した。（山田 充）

## 織工38会

S38繊維工学科卒



日時 平成24年3月21～22日  
 開催場所 長島温泉  
 参加人数 12名  
 実施事項 情報交換、大学近況、親睦  
 幹事・報告者 大沼 紀幸（織工S38）

### <幹事のコメント>

織工38会クラス会は1年半ごとに開催し、大変活発です。今回は大阪が当番でした。過去には天橋立でのカニ尽くしが今でも話題が出るほど好評でした。今回は長島温泉に宿泊して、関西地区では超有名な「なばなの里」のイルミネーションを見学しました。子供だましかないと一抹の不安はありましたが、蓋を開けてみればたまげたと大好評でした。ライトアップに映えた330本の枝垂れ梅も満開で、大輪のペゴニアガーデンも花を添えました。「輪中の郷」の見学や桑名での蛤御膳の昼食も盛り上がり、旧交を温めた有意義なクラス会でした。

## ポプラ会

S30獣医学科卒



日時 平成24年5月21～23日  
 開催場所 京都市「ホテル京都エミナース」  
 参加人数 14名  
 実施事項 情報交換、懇親  
 幹事・報告者 小林 茂雄（獣医S31）

## 昭和39年農学部卒業同期会

S39農学部卒



日時 平成24年5月25日  
 開催場所 東京農工大学50周年記念ホール  
 参加人数 農学科8名、生産工学科7名、  
 林学科（林産）15名、獣医学科10名、  
 農芸化学科6名

実施事項 親睦、近況交換  
 幹事・報告者 上田 淳治（農S39）

### <幹事のコメント>

農工大ブランド焼酎「賞典祿」を嗜みながら校歌を合唱、平成6年以来続けてきた同期会も今回を最終回と決定。以後は各学科のクラス会に引継ぐことで解散。

## ポリメル会

S34繊維化学科卒



日時 平成24年5月27～28日  
 開催場所 浜名湖「かんざんじ荘」  
 参加人数 22名  
 幹事・報告者 森田 良夫（織化S34）

### <実施事項>

ポリメル会は、高分子合成の英語のPolymerisation（重合）からもじったもので、個人が伴侶を持ち、子供を増やす事を願った会であります。

過去に、当時の4名（飯野善治、大野泰雄、小松和蔵、大和田悦郎）の各先生方を囲んで、卒業20周年の記念クラス会を開催した思い出の「かんざんじ荘」に、今般33年振り集まって旧交を温めた。

## かいこ会

S19.9養蚕、栽桑、製糸学科卒



日時 平成24年5月22日  
 開催場所 東京上野不忍池畔「東天紅」  
 参加人数 2名  
 幹事・報告者 井上善治郎（栽桑S19.9）

### <幹事のコメント>

4人から参加の申し出があったが、2名となる。小林君曰く「ついに来るべきときが来たか」と。

彼はクラスで唯一の九州大学農学部に進学、若くして青森、山梨の農政課長、農林省統計調査部統計課長で退官、すでに瑞宝小綬章を拝受、雨の降る不忍池を見下しながら2人だけのクラス会というもの、仲々良いものでした。

# 掲 示 板

## 同窓会通常総会へ一般正会員の参加募集について

平成24年5月26日の総会にて同窓会会則改正案が上程され同日承認されました。

それにより、平成25年度の同窓会通常総会から一般正会員（60人以内）が構成員として加わることが可能になりました。（第6章、第31条）

総会構成員として登録を希望される方は、来年1月に本会ホームページにてご案内いたしますので、参照して下さい。

## 「農工通信の表紙」および「ホームページトップ画面」に掲載する写真や絵の募集について

広報部では、今後発行します農工通信の表紙およびホームページトップ画面の写真や絵を会員の皆様から広く募集しています。皆様の日頃の力作を同窓会事務局まで電子媒体（郵送も可）にて是非奮ってお送り下さい。

常時受け付けていますが、掲載については広報部にお任せ下さい。

### 新ホームページのトップ画面





## 同窓会ホームページを6年振りにリニューアルしました！

この度同窓会のホームページを大幅に更新いたしました。更新のコンセプトは次の5つです。  
 (1) 最新トレンドWEBデザインの導入。(2) 簡便な会員情報(住所、勤務先など)更新方法の提供。  
 (3) 会員交流の場の提供。(4) 部会・支部の皆様方による直接かつ簡易なデータ更新方法の提供。  
 (5) 高セキュリティーWEB。これにより、今まで以上に同窓生の皆様方の情報がいち早くホームページ上に反映できるように工夫をしております。今回の更新で一番の試みは、「会員交流広場」として、各部会・支部毎の"Facebookページ"のリンクを新設し、会員相互の交流が直接出来るようにしたことです。"Facebook部会・支部ページ"は、Facebook登録者なら誰でも管理者になれて、作成可能です。各部会・支部で"Facebookページ"の管理者が決まりましたら、事務局宛にご連絡下さい。なお、今までと同じURLでもアクセス可能ですが、新たなURLは次の通りです。  
<http://www.tuat-dousoukai.org/>  
 また、Facebookへの個人登録方法を簡略ですが下記にご案内いたしますので、参考にして下さい。すでにいくつかの部会・支部ページがリンクされています。同窓会ホームページの「会員交流広場」に是非ご参加下さい。

WEB担当理事 滝山博志(化工S62)

### ～ Facebookに登録して同窓生と交流してみませんか～ アカウント(会員)登録の方法

1. Facebookウェブサイトへアクセスを行ないます

[http://ja-jp.facebook.com./](http://ja-jp.facebook.com/)



2. 右上の「アカウント登録」の箇所に必要事項を記入します。  
 入力後「アカウント登録」を押下します。

アカウント登録  
 情報の公開範囲は設定で管理できて安心です。

姓(ローマ字):

名(ローマ字):

メールアドレス:

メールを再入力:

パスワード:

性別: 性別を選択:

誕生日: 年:  月:  日:

生年月日を入力いただく理由

[登録]をクリックすることにより、あなたは弊社規約に同意し、Cookieの使用を含むデータの使用に関するポリシーを読み、理解したことになります。

アカウント登録

<例>

姓(ローマ字): 「山田」または「Yamada」など  
 名(ローマ字): 「花子」または「Hanako」など

以上で登録は終了です。  
 詳しくは、同窓会ホームページの「会員交流広場」をご覧ください。



## アメリカンミニチュアホースに新しい家族誕生

平成24年6月5日午後10時に、アメリカンミニチュアホースの雄子馬が誕生しました。毛色は、アップルパイやモカと同じ鹿毛で誕生時の体重は、10.5kg、体高が55cmとこれまでの2頭に比べて背が高く肢が長いのが特徴です。まるでサラブレットの縮小版のようなスマートな子馬です。生後10日目には、体重も15kg、体高57cmにまでに成長し、元気に母親の乳を飲んで走り回っています。

東京農工大学には、本学の卒業生で世界的遺伝学者であった大野乾博士の愛馬で大野博士の死後、翠夫人から本学へ寄贈された「アップルサイダー（雄）」（平成15年来学）とその後お嫁さんとして寄贈された「シナモン（雌）」（平成19年来学）のアメリカンミニチュアホースが飼育されています。この2頭は、来学後繁殖に成功し、平成20年8月13日に第1子「アップルパイ（雌）」、次いで平成22年7月26日に第2子「モカ（雌）」が誕生しました。

前2回の出産の経験から、部員が出産予定日の1週間前からモニターテレビを用いた観察と4時間ごとの体温測定などのために泊まり込み、万全の態勢で出産を待っていました。しかし、今回の出産は、母馬の分娩兆候がはっきりせず、部員が駆けつけた時にはすでに出産が終わっておりました。誕生直後には無呼吸状態であったことから、蘇生、起立、初乳吸乳に至るまでの数時間が緊張の連続でした。気が付くといつのまにか真夜中の厩舎には30名近い学生達があつまり皆の見守る中で子馬が無事に初乳を自力で飲んだ時には、思わず全員から喜びと安どの歓声が上がりました。午前4時を過ぎ、外はもう白んでいました。

その後は、子馬の成長も順調で誕生の知らせを聞いた近隣の方々が毎日訪れています。

本学でアメリカンミニチュアホースが三度無事に誕生して明るい話題を提供できたことは、馬の飼育と調教をしっかりと継続してきたミニホースの会と馬術部の部員のたゆまぬ努力の賜物です。これからも多くの学生が馬を通して感動し、命の大切さを学び、人間力を涵養して、本学の社会貢献活動にも益々活躍してくれるものと期待しています。

ミニホースの会・馬術部顧問教員 田谷一善（獣医S46）



6月5日 起立した子馬



6月6日 初めて、パドックに出た子馬  
左がアップルパイ、右がシナモン



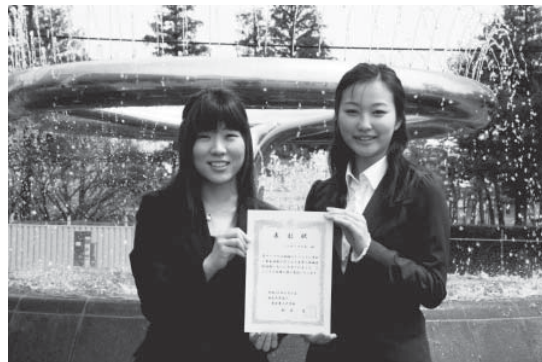
## 馬術部とミニホースの会が平成23年度東京農工大学学長賞を受賞

平成24年4月6日の入学式で式典に併せて平成23年度学長賞受賞者の表彰式が行われ、クラブ活動部門で馬術部とミニホースの会が受賞しました。馬術部は財団法人東京都体育協会から平成23年度「生涯スポーツ優良団体」として表彰された功績、また、ミニホースの会はアメリカンミニチュアホースを活用した社会貢献活動がそれぞれ評価されました。両クラブ共に本学を代表するクラブとして今後も一層の活躍が期待されます。

田谷一善（獣医S46）（馬術部・ミニホースの会顧問教員）



〔馬術部〕 左：郷 由梨（応用生物科学科4年生）  
右：鈴木英佑（獣医学科 2年生）



〔ミニホースの会〕 左：佐野 芳（獣医学科 3年生）  
右：高橋奈月子（生物生産学科3年生）

## 第1回市民講座「イノベーションを聴く一人に安全・安心な技術」を開催

平成23年12月3日（土）、本学小金井キャンパス新一号館L0111教室において2時より東京農工大学と教育研究振興財団が共催で第1回市民講座が開催されました。この市民講座は、一般財団法人としての公益性を考えた講座です。講座の運営に当たり、OBの農工大の産学連携活動を支援する機能部会であるAT-Netzと在学生の同窓会組織である向友会が協力してくれました。内容は、イノベーションにより生み出される「安全、安心、健康、環境」な技術をテーマに「イノベーションを聴く一人に安全・安心な技術」と題して農工大の教員による研究紹介とそれに関する事業を行っている企業による事業化技術を市民に分かるように紹介するのが目的です。今回は、「クルマの安全・安心」を取り上げました。

松永是学長の開会挨拶に続き、工学府長の永井正夫教授による「安全、安心な車のための研究」、それを受けて、トヨタ自動車技術統括部の井上秀雄氏による「車の安全・安心技術の開発」が講演され21世紀の安全を目指したクルマの姿がわかりやすく紹介されました。引き続き、本学卒業生で横浜ゴム（株）タイヤグローバル技術本部挟間浩久氏による「タイヤの安全設計」の講演、そして最後に自動車評論家清水和夫氏による「魅力あふれるクルマ」と題した講演が行われ、車ファンの期待にも十分応える内容でした。出席者は、市民、会社員、学生、教職員合わせて101名と幅広い層からの参加がありました。アンケートの結果によれば、20代から60代と市民講座ならではの幅広い層が参加しています。講演の満足度も高かったことがわかります。

広報部長 亀山秀雄（化工S48）



## 「インドネシア共和国の留学生を囲む会」の報告

平成24年1月28日に、本学府中キャンパスにおいて「インドネシア留学生を囲む会」が開催されました。

かねてより、東京農工大学と学術交流協定を結んでいるインドネシアの姉妹校関係者や農水省やJAICA、JITCO(国際研修協力機構)などの途上国支援組織などで活躍の卒業生の方々から、インドネシア留学生のネットワーク組織ができないかという要望が同窓会本部に寄せられておりました。

そこで、同窓会常務理事会にはかり、国際センターと連携して、インドネシア留学生の同窓会づくりに取り組むことにしたものです。

### (1) 出席者

当日は、インドネシア大使館に書記官として在日されているアルマンさんを含め18人(家族同伴の方もいらっしゃいました)の留学生及び訪問研究員の方々が出席されました。

また、大学関係者及びインドネシア関連の研究業務等に従事されてきた方々の出席は、國見学府長、久保隆文本学名誉教授、レンゴロ准教授、千年篤教授、及川洋征助教、岩本隼人特任教授(アグロイノベーション高度人材育成センター)、小杉正(元国際農林水産業研究センター研究員)、藤田正三(茨城中央園芸農協、専務理事)、作田竜一(農林水産技術会議事務局)、城崎正夫(ニチレイフレッシュ畜産事業部)及び淵野雄二郎本学名誉教授の11名でした。

### (2) 協議内容

全員の自己紹介の後、淵野の方から今回の「囲む会」を呼びかけた主旨説明を行い、母国での同窓会の設立にむけて、下記に示した「東京農工大学日本インドネシア友好会(仮称)」のようなインドネシア留学生の指導教員や、インドネシアに関連する研究や業務に携わっている本学卒業生の友好交流組織を立ち上げてはどうかという提案を行い、協議しました。

#### 「東京農工大学日本インドネシア友好会(仮称)」設立について

##### (目的)

日本とインドネシアの同窓生の学術、経済、文化交流活動を通して、両国の友好関係を深めることを目的とする。

##### (活動内容)

- 1) 日本とインドネシアの学術、経済、文化等の相互理解を深め、そのためのシンポジウムや現地視察などを実施する。
- 2) インドネシア留学生のネットワークの構築(同窓会設立)を支援する。
- 3) 会報やメールなどによる情報交流
- 4) その他

##### (幹事及び事務局)

候補として、船田、荻原、東城、千年、及川、小杉、藤田、淵野、レンゴロ、馬場

インドネシア側についてはアルマンさんと在学中の留学生から複数人を選ぶ。

\*ただし、淵野及び馬場先生、レンゴロ先生については、同窓会及び国際センターとしてどのようなスタンスで対応するか検討が必要である。

以上をたたき台にして協議しました。おおむね了承いただけたと思いますが、ご案内を差し上げた先生方で、ご出席いただけなかった方々の意見も再度お聞きして、継続的に活動できる「会」の運営方法をあらためて検討することにしました。

### (3) 懇親会

連合農学研究棟(第1会議室)での協議に引き続き、本部キャンパスの武蔵野荘に会場を移し、懇親・交流会をもちました。懇親会では、國見学府長から以下のような主旨のご挨拶をいただきました。

「本学農学部最初のインドネシアからの留学生はイスカンドールさんで、昭和40年農学科を卒業されました。その方は不幸にして、帰国後亡くなられました。その後、多くの留学生を本学に迎え、現在、農学部には、農学府で1名、連合農学研究科に7名の方々が在学中で、母国で活躍の卒業生も20名を超えています。また、ボゴール農業大学やガジャマダ大学など姉妹校協定を結んだ大学との教育研究交流も活発に行われてきました。これからも関係者のみなさまのご協力を期待しておりますが、昨年、インドネシア政府は、日本の大学に1000名の留学生を派遣することを方針として掲げました。本学としても連合農学研究科をはじめとして積極的に受け入れていくことにしています。」

\*これからも、インドネシアからの留学生が増えることが見込まれており、インドネシアの留学生ネットワークを構築する意義が高まってくるかと思えます。



2012年1月28日 武蔵野荘ラウンジにて

事業部長 淵野雄二郎(農S43)



## 女性未来育成機構では、農工大卒業生の ブラッシュアップ・キャリアアップを応援します！

東京農工大学女性未来育成機構は、女性研究者の養成と支援環境の整備を目的として、女子学生、女性研究者、女性卒業生を含む、農工大に関わる全ての世代の女性の活躍支援に取り組んでいます。

本学卒業生限定  
研究生・科目等履修生の  
入学料・授業料優遇制度

区分	研究生	科目等履修生
検定料	9,800円 (9,800円)	9,800円 (9,800円)
入学料	0円 (84,600円)	0円 (28,200円)
授業料	月額 14,800円 (29,700円)	1単位 7,400円 (14,800円)

- ・男性も女性も利用できます
- ・（ ）内は、本学卒業生以外の方の金額です。

女性卒業生限定 ネットワークシステム **農工大SNS**

「農工大SNS」は、イベントのお知らせ、ブラッシュアップ教材、出産・育児・介護、再就職、キャリアアップに関するコミュニティを用意しており、卒業生同士の交流スペースとして利用できます。

女性未来育成機構（旧女性キャリア支援・開発センター）から郵送されたID・パスワードを使ってアクセスして下さい。ID・パスワードを忘れた場合は、農工大SNSトップページより再発行手続きが可能です。

農工大SNSのURL  
<https://josei.office.tuat.ac.jp/~sns/>

お問合せ先：東京農工大学 女性未来育成機構

- ◆府中機構オフィス 042-367-5945(Tel)/5643(Fax)
- ◆小井井機構オフィス 042-388-7362(Tel)/7643(Fax)
- ◆e-mail [joseispt@cc.tuat.ac.jp](mailto:joseispt@cc.tuat.ac.jp)
- ◆HPアドレス <http://www.tuat.ac.jp/~dan-jo/center/index.html>

皆さん 楽しく集まりましょう



東京農工大学 同窓会東京支部

### おしゃべりサロン 「けやきクラブ」

【けやきクラブ】は支部に関係なく、どなたも参加できます（予約なし フリー）  
◆大正・昭和・平成それぞれ オークー ◆一人でも、友達連れでも

## みんなの夕べ

毎月第3火曜日 6.00p.m.~8.00p.m. (時間きっちり)

「新宿ライオン会館」B1F ピアホール けやきクラブ席  
住所 新宿区新宿3-28-9 電話 03-3352-6606 (案内図)

飲み物・食べ物 フリカン制(大体 3000円~4000円)

**アクセス** 地下鉄丸ノ内線「新宿三丁目駅」3分  
JR新宿駅 東口 三越の並び 3分



近況：2012年6月例会 参加者 9名



お問い合わせ けやきクラブ会長 渡辺 彰 090-8051-1798 東京支部長 馬場 信行 03-3641-3882  
事務局 磯野 司 090-3878-5418 東京事務局長 山本 賢 090-4729-2114



## 慶弔

### 慶 事 お祝い申し上げます

☆平成24年春の叙勲  
石原 邦 名誉教授 瑞宝中綬章

☆平成23年度高齢者叙勲  
林 志郎 (拓殖S18) 瑞宝双光章  
金子 英夫 (養蚕S18) 瑞宝双光章  
井上善治郎 (栽桑S19) 瑞宝双光章

☆平成23年春の叙勲  
國府田佳宏 (農工S32) 瑞宝中綬章

### 訃 報 ご冥福をお祈り申し上げます

平成24年 6月21日逝去  
丸田 (中安) 定子 (名誉教授)

平成24年 3月24日逝去  
貞松 光男  
(現佐賀県支部長・農S34)

平成24年 2月10日逝去  
野々村 豊 (名誉教授)

## 定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成25年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生の研究室にお問い合わせ下さい。

なお、氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみとしております。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| ● 農学研究院教授 岩崎 利郎      | ● 工学研究院教授 新井 紀夫 |
| ● 農学研究院教授 亀山 純生      | ● 工学研究院教授 黒川 隆志 |
| ● 農学研究院教授 千賀裕太郎      | ● 工学研究院教授 小宮三四郎 |
| ● 農学研究院教授 高橋 幸資      | ● 工学研究院教授 谷 俊朗  |
| ● 農学研究院教授 田谷 一善      | ● 工学研究院教授 寺田 松昭 |
| ● 農学研究院教授 豊田 隆       | ● 工学研究院教授 山形 邦夫 |
| ● 農学研究院教授 矢ヶ崎一三      |                 |
| ● 生物システム応用科学府教授 堤 正臣 |                 |

## 馬関連図書を集めています

東京農工大学馬術施設には、審判棟を兼ねた2階建の馬科学教育研究センターを設置しています。このセンターには、馬に関する一般書や学術書、馬を用いてまとめられた博士論文などを集めて展示しています。貸し出しは行いませんが、学内外の方々が馬に関する勉強ができるよう便宜を図っています。もし、会員の皆様で寄贈頂ける馬関連の書籍がありましたら田谷一善まで送って下さい。どうぞ宜しくお願いします。(郵便番号183-8509 東京都府中市幸町3-5-8、東京農工大学農学部獣医学科獣医生理学研究室、電話042-367-5767)。





# 東京農工大学 向友会

Tokyo University of Agriculture & Technology Alumni Association -Koyukai-

## ■向友会とは

私たち向友会は2012年度のテーマを「**脳動的4年間**」とし、学生自らが行動して農工大を活性化することで、本校の今後の発展に貢献するべく活動しています。向友会は2010年12月に立ち上がり、2011年6月に**大学公認サークル**となった新しい学生団体です。現在、顧問には工学研究科 応用化学専攻の亀山秀雄先生に就いていただき、運営委員には学部生から院生まで学科・専攻を問わず幅広いメンバーが活動しています。本年度は代表・比嘉 恵介（工学部情報工学科4年）のもと、以下の2つの軸から様々な企画を行なっています。

1つ目は、「**つながりの場を提供**」することです。農工大では他学年・他学科、または学生と卒業生が関わる機会が少ないことから、今までにない出会い、交流できるような機会を作ることを目的としています。この「つながりの場」を通して、学生には幅広い視野で自身のキャリアを考える機会、学生同士の横のつながり、また卒業生との業界や世代の垣根を越えた新たなネットワークを提供したいと考えています。

2つ目は、「**新規メディアの創出**」です。農工大の一般的な認知度や情報発信力が弱いことから、大学やサークル、研究室のもつ情報をまとめ上げることにより、情報発信力を高め、農工大の内外へ発信、また学外の学生イベントなどの情報も学内に発信していくメディアとしての役割を目指しています。

## ■活動内容

昨年度の活動内容として、7月に「**[卒業生]×[現役生]=[農工革新] ～これからの農工大を考えよ！～**」と題し、農工大の問題点とその解決策についてグループワークやプレゼンテーションを行いました。10月には就職活動を控えた学生を対象に、既に就職活動を終えた方々を交えた「**内定者に出会える交流会**」を開催しました。12月のクリスマスには「**NOKO Christmas Party 2011**」を開催し多くの学生に参加して頂きました。また就職活動だけでなく大学院進学に目を向け、本校・他大の大学院に進学した卒業生を招き「**大学院生とは**」と題した大学院進学セミナーを開催しました。

今年度は、7月末に「OB/OGと出会える交流会（仮）」というイベントを企画しています。その他昨年度に引き続き、就活・大学院進学向けのイベントやパーティーの開催、講演会への協力等を予定しています。また、向友会のWebサイトではイベント情報の他、就活を終えた先輩のアドバイスをまとめた「**私の就活体験記**」といったコンテンツの配信を行っており、今後はFacebookやTwitterなどのSNSを活用しイベントの告知や交流を充実させたいと考えています。

## ■内定者に出会える交流会（2011年10月14日）

2012年度内定者の農工大生が集まり、研究室配属・就職活動に不安を抱える学生に様々な情報・繋がりを提供するため、気軽に参加しやすい立食形式のイベントを行いました。当日は138名（内定者58名、その他学生77名、卒業生3名）に参加して頂き、「先輩とたくさん話せてよかった」（参加内定者）、「勉強になりました。今後もイベントに参加したいです」（参加学生）といった声を頂くことができました。



## ■在学生の皆様へ —脳動的4年間—

このテーマには「自分たちで考え行動し、農工大に来て良かったと思える大学生生活にしよう」という思いを込めています。活発な学生同士で新しいことに挑戦してみませんか？向友会は農工大をより活動的で有意義な大学にしていきます！私たち向友会のメンバーは向友会の活動を通して、農工大を盛り上げたい！自分を成長させたい！という思いのもと集まっています。向友会の運営に興味のある方は、毎週火曜日の18時から小金井キャンパス新1号館4Fコミュニティルームで定例会を開いていますので見学に来てください。tuatkyk@gmail.comまでメールして頂いても大歓迎です。FacebookやTwitterアカウントもあるのでチェックしてみてください。



2012年度向友会代表  
比嘉 恵介

## ■卒業生の皆様へ

向友会は設立してまだ2年足らずの若い団体ではありますが、卒業生の方には長年培われた経験やノウハウ、人脈などを、ぜひ向友会そして農工大のためにご提供していただければ幸いです。イベントのご案内や向友会の活動を、下記のWebサイトやFacebookページでお知らせしていますので、是非一度御覧ください。

Webサイト：<http://tuatkyk.web.fc2.com/index.html>  
メールアドレス：tuatkyk@gmail.com  
Facebook：<http://www.facebook.com/kouyukai>  
Twitter：@TUAT\_KUK





# 事務局だより

## 1. 「住所・勤務先等の変更届のお願い」

住所、勤務先等の変更があった場合には、すみやかに変更連絡票はがき、電話、ホームページの会員情報から事務局までご連絡いただきたくお願い申し上げます。事務局では転居され、郵便物が返送された会員の方に現住所等のお問い合わせをしております。また、部会・支部・クラス会単位の名簿等に「住所・勤務先・電話番号」について非掲載をご希望される方は、ホームページの会員情報やはがき等でご連絡いただきますようお願いいたします。

## 2. 「同窓会ホームページのご案内」

<http://www.tuat-dousoukai.org/>

リニューアルしました同窓会HPでは内容を随時更新し、農工通信に先駆けて最新情報を掲載いたしますので是非ご利用下さい。

また、部会・支部・クラス会便りも写真と併せてお送りいただければ、随時掲載いたしますので、当日参加できなかった方もHPでご覧いただくことが出来ます。

どうぞ下記アドレスまでお送り下さい。お待ちしております。

E-mail: [info@tuat-dousoukai.jpn.org](mailto:info@tuat-dousoukai.jpn.org)

## 3. 「部会・支部だより」 / 「クラス会だより」について

新たに「幹事のコメント」の項目を作りました。従来通りの報告だけでも結構ですが、加えて「幹事のコメント」として200字以内で会の報告記事（内容は自由）をお願い致します。報告の際は同窓会ホームページの「部会・支部だより」「クラス会だより」から「別紙 掲載記事」をご利用下さい。

## 4. 「慶弔についてのご連絡」

同窓会正会員の慶事および弔事の際には、会員の方々からのご連絡に基づき、同窓会から祝電あるいは弔電をお送りしております。

このような慶弔事のご連絡の際に、次のような事項についてあわせてご連絡ください。

- 慶事（褒賞、叙勲等）の場合
  - 受章者、受賞者の氏名、年齢、卒業年次、学科、住所、電話等
  - 受章、受賞の種類（褒賞、叙勲その他の賞の種類）
  - 受章、受賞の日時

## 2. 慶事（選挙の当選等）の場合

- 当選者氏名
- 選挙の種類
- 就任年月日

## 3. 弔事の場合

- 逝去者の氏名、逝去日、卒業年次、学科、住所、電話等
- ご遺族（喪主）の氏名（逝去者との続柄）
- 通夜の日時、場所
- 告別式の日時、場所

## 5. 「寄稿分 随時募集中」

寄稿内容は自由（例：随想、近況報告、研究紹介、仕事に関すること等）です。なお、文字数はA4判1ページ1200字程度を目安にさせていただくと共に、原稿については、可能な限り電子媒体でお送り下さい。詳細は事務局にお尋ね下さい。

## 6. 「会報へのご意見感想を是非お寄せ下さい。」

同窓生の方からのお便りお待ちしております。

## 7. 「会費納入のお願い」

★会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの方法で会費を納入してください。

終身会費は30,000円。

年会費は1,500円。

★払込票が同封されていない方は納入済です。

## 8. 「お詫びと訂正」

本誌82号 平成22年度卒業生・修了生において誤りがありました。以下のとおり訂正して下さい。

\*74頁 物質循環環境科学専攻 幾谷純子さんの進路先を「国立大学法人東京大学職員」へ訂正して下さい。

\*75頁 電気電子工学専攻 関根高史さんの進路先を「アズビル(株)」へ訂正して下さい。尚、アズビル(株)は2012年4月に(株)山武から社名変更しました。

関係各位および読者の皆様にお詫び申し上げます。

地元 小金井市の商社

## 株式会社 高岡 機 工

〒184-0001 東京都小金井市関野町 1-4-6  
 TEL : 042-383-6100 FAX : 042-384-4993  
 E-Mail : takaoka@basil.ocn.ne.jp

☆お気軽にお問合せ下さい。

### ◀ 営業内容 ▶

- ◇ 研究諸機材の製作及び販売
- ◇ 金属材料・樹脂材料・木材・試験片・衬類・配管部材
- ◇ 装置部材・装置部品（ﾊﾞﾘﾝｸﾞ、ｼﾌﾄ、ｷﾞヤ類、ﾓｰﾀｰ、機械周辺機器 etc）
- ◇ 各種工具（切削工具・測定工具・作業工具・補用工具 etc）
- ◇ 受託加工・部品加工（NC・MC加工・旋盤加工・ワイヤ加工・溶接加工）
- ◇ 工作機械・研究装置・測定器・理化学機器・作業台・実験台
- ◇ 修理、オーバーホール、アフターフォロー、加工相談、各メーカー情報の提供

## デジタルテレビ向けブラウザ tourbillon3 開発販売

### 株式会社 ミックステクノロジーズ

代表取締役 玉ノ井 和之

昭和58年工学部応用物理学科卒

〒808-0135  
 福岡県北九州市若松区ひびきの1-8

TEL 093-695-3485  
 tamanoi@mix-tech.jp

<http://www.mix-tech.jp>

試薬 理化学機器

## 株式会社 三友商会

代表取締役 金 森 信 次

〒183-0041  
 東京都府中市北山町2-33-58  
 PHONE 042(502)1200  
 FAX 042(502)1300  
 E-MAIL sanyuu@jcom.home.ne.jp

忘年会・新年会・歓送迎会・クラス会・謝恩会  
PTA会合・周年行事・結婚披露宴・御法事

## CATERING Service

出張料理

1パーティ・御宴会は  
サンゴリアで!!

お集まりにふさわしい雰囲気演出致します。  
お客様のご予算に応じたお料理お飲物を調整致します。



グラス~テーブルクロス等  
あらゆる備品を用意し、  
セッティングからサーバー  
後片付けまですべて  
おまかせ下さい。

府中グリーンプラザ内  
府中駅北口駅前

# サンゴリア

TEL&FAX (042) 368-6368

府中グリーンプラザ 会議室・和室等を御利用下さい。10名様~250名様  
府中市府中町1-1-1グリーンプラザ3F

## 東京農工大学生協は 魅力ある大学づくりに貢献します。

学内開催のパーティーや各種  
イベントでのお料理・お飲物など、  
ご要望に合わせてプランニング  
いたします。  
お気軽にご相談ください。

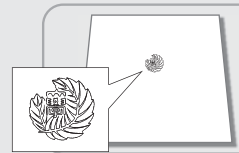


東京農工大で生産された小麦粉を  
使用したクッキー。プレーンサブレ・  
ココナッツサブレ・チョコノアの3種。  
ご来校の記念にぜひどうぞ。



1袋(5個入り) 170円(税込)  
1箱(5袋入り) 900円(税込)

会合、お祝い、記念行事などに  
農工大徽章の摺入り色紙、  
ご利用いかがですか?



1枚 150円(税込)

生協店舗では他にも色々なオリジナルグッズを取り扱っています。  
キャンパスにお越しになったときは、生協店舗にもお立ち寄りください

東京農工大学消費生活協同組合

農学部本部 TEL 042-366-0762  
工学部本部 TEL 042-381-7213

より多くの方に自著を読んで  
欲しいという方は電子出版を!  
既に多くの出版実績を持つ方  
には電子書店開設を!

# BookWay

本とあなたをつなぐ道 ブックウェイ

海外向け電子書籍サイト  
**BookWay GLOBAL 誕生!!**  
日本の書籍を海外に販売

<https://bookway.jp>

お問い合わせは TEL.079-222-5372

同窓会運営に特化した機能盛りだくさん!  
現在63の同窓会が登録。どんどん進化中!

同窓会コミュニティサイト

# Bikita



携帯・スマホ兼用

<https://www.bikita.jp>

お問い合わせは TEL.0120-22-5085

小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分市松原町2丁目1-6 TEL 097(558)3444(代)  
<http://www.ohp.co.jp> FAX 097(552)2301

ISO 9001  
BUREAU VERITAS  
Certification

農  
工  
通  
信

No.83



「楽しい」の定義は人それぞれ。  
だから、ダイナムグループは、  
お客様ひとりひとりの気持ちになって、  
新しいパチンコのあり方を  
考えつづけます。



THINK,  
THINK,  
THINK.

**ダイナム**

株式会社ダイナムは46都道府県でパチンコホールを346店舗展開しています。  
〒116-8580 東京都荒川区西日暮里2-27-5 代表取締役社長 / 佐藤 公平  
[www.dynam.jp](http://www.dynam.jp)

# 編集 後記

Editor's note

本83号は、平成24年度前期号になります。本年から農工通信を年2回発行することになりました。2回発行することは、会員同士の「絆」を深めることが目的です。そのため各部会や支部の会員個人の様々な活動の姿をも紹介いたします。同じ体裁のものを2回ではなく、前期号は従来の農工通信の様式を引き継ぎ、同窓会の総会の報告、部会・支部・クラス会だより、卒業・修了生名簿、事務連絡が主な内容です。後期号は、会員個人の活動の様子や農工大学内の詳しい様子を中心に紹介します。したがって後期号は、会員個人からの寄稿が中心になりますので、皆様の社会活動、趣味、思い、仲間に伝えたい情報などをお寄せ頂きたいと思います。編集体制も異なります。本前期号は、広報部理事と事務局職員が担当しますが、後期号は、広報部長と事務局職員以外の、農工の同窓会OBやOGの方数名による制作グループのボランティア編集作業になります。同窓生の皆様には、これから個人に原稿依頼が行くと思えますが、ご協力のほどお願い申し上げます。前期と後期の2種類の農工通信が、会員皆さまの国内外ネットワークへと発展し、より強い同窓生の絆が形成されることを願っています。

広報部長 亀山秀雄 (化工S48)

## 農工通信 第83号

発行日 平成24年(2012年)9月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局

TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail [info@tuat-dousoukai.jp](mailto:info@tuat-dousoukai.jp) <http://www.tuat-dousoukai.org/>

振替口座 00120-9-93147番(加入者負担)

加入者名 東京農工大学同窓会

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6

お中元、お歳暮、贈り物に最適  
部会、支部会、同窓会でも是非ご賞味下さい。

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター（FS センター）で栽培した原料（米・芋・麦）をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄（しょうてんろく）」を販売しています。

ご好評いただいております「賞典禄（しょうてんろく）」米・芋・麦の本格焼酎に加えて、米・芋・麦の熟成した原酒もそろい踏みとなり、ますます品揃えが豊富になりました。

この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是非ご賞味ください。



FAXでのご注文も可能になりました!!



左から、原酒（米）、原酒（芋）、原酒（麦）



左から、米焼酎、芋焼酎、麦焼酎

### 【ネット販売対応商品】

商品種類	度数	容量	販売価格
原酒 米焼酎(つぼ入り)	43度	720ml	2,700円
原酒 芋焼酎(つぼ入り)	38度	720ml	2,700円
原酒 麦焼酎(つぼ入り)	43度	720ml	2,700円

商品種類	度数	容量	販売価格
米焼酎	25度	720ml	1,700円
芋焼酎	25度	720ml	1,700円
麦焼酎	25度	720ml	1,700円

米・芋・麦 3種セット  
(専用の箱に入れて配送します) 25度 720ml×3 5,000円  
(値下げしました。)

ただいまインターネット販売により、多くの卒業生の皆様方にご愛顧を賜っておりますが、**配送先 1ヶ所に  
つき 5,000円以上のご注文の場合には送料を無料**とさせていただきますので、是非ご利用ください。  
代金の支払方法は、代金引換かクレジットカードになります。詳しくは下記URLをご覧ください。

ネットショップサイト：**FSセンター農工夢市場ネットショップ**

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

**農工夢市場** で **検索** すると便利です。

同窓会のホームページ（事務局便り）からも本サイトに入れます。

※ FAXでのご注文：「042-367-5801」へお願いします。

※電話でのご注文はできませんので、予めご了承をお願いします。

**問い合わせ先** 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務局 TEL 042-367-5812